

令和元年東日本台風（台風第 19 号）に関する記録と
災害から 5 年の主な取り組み
記録集

飯 山 市

令和 8 年（2026 年）6 月

目次

はじめに	… 1
第1章 令和元年東日本台風（台風第19号）の概要と対応記録 ～令和元年台風19号関連災害経過報告【第9報】 令和2年9月30日現在の記録から～	… 3
1 令和元年東日本台風の概要	… 4
(1) 令和元年台風第19号の概要	
(2) 令和元年台風第19号に関する長野県速報	
2 飯山市の気象情報	… 8
(1) 気象警報等の発表状況	
3 災害対策本部等の設置、会議状況	…10
(1) 本部体制	
(2) 本部等会議の開催	
4 避難情報・避難所の状況	…11
(1) 避難情報発令状況	
(2) 避難所の開設状況	
5 樋門、樋管、ポンプ等の対応	…12
(1) 樋門等の対応状況	
(2) 排水ポンプ車の配置	
6 被害の状況	…13
(1) 浸水被害のエリア	
(2) 人的被害の状況	
(3) 住家浸水被害状況	
(4) 事業所浸水被害状況	
(5) 公的施設等における被災状況と復旧対応	

7	ライフラインの状況	…27
	(1) 電気	
8	道路の状況	…27
	(1) 国県道	
	(2) 市道	
9	公共交通機関の状況	…27
	(1) JR 北陸新幹線	
	(2) JR 飯山線	
	(3) バス等その他の公共交通	
10	災害廃棄物の受入れ状況	…28
	(1) 浸水により発生したゴミ処理	
	(2) 仮設集積場からの搬出	
11	受援の状況	…28
	(1) 自治体からの派遣	
12	災害ボランティアの状況	…29
	(1) ボランティアセンター	
13	主な被災者支援	…29
	(1) 災害救助法	
	(2) 上下水道料金の減額	
	(3) CATV 料金の減額	
	(4) 国県の生活再建支援制度	
	(5) 義援金	
	(6) 災害援護資金の貸付	
	(7) 災害見舞金の支給	
	(8) 相談窓口の設置	
	(9) 所得に関係のない就学支援	
	(10) 事業所等を対象とした特別相談窓口の設置	
	(11) 国民健康保険、後期高齢者医療の窓口負担の免除	
	(12) 後期高齢者医療保険料の減免	
	(13) 国民年金保険料の免除	
	(14) 介護保険料の減免	

- (15) 介護保険サービス利用料の免除
- (16) 各種証明書の手数料免除
- (17) 飯山市生活支援・地域ささえあいセンター運営事業
- (18) 事業者支援
- (19) 農業施設支援
- (20) その他支援
- (21) 課題等に関する主な意見交換会の開催

第2章 令和元年東日本台風（台風第19号）の被災・復旧写真と 広報飯山、新聞記事の記録	…34
1 被災状況	…35
(1) 市街地全景	
(2) 秋津地区静間バイパス周辺	
(3) JR飯山駅周辺～上町周辺	
(4) 飯山市役所周辺	
(5) 飯山市役所内	
(6) 飯山地区北町区周辺	
(7) 一級河川 皿川	
(8) 戸狩野沢温泉駅周辺	
(9) 岡山地区桑名川区周辺	
(10) 避難所の状況	
(11) 消防団の対応状況	
2 復旧状況	…46
(1) 被災地域の復旧	
(2) 一級河川 皿川の応急復旧	
(3) 企業、応援自治体、ボランティア等による復旧	
(4) 災害ゴミ集積場の状況（旧城南中学校グラウンド）	
3 広報飯山・新聞記事の記録	…60
第3章 令和元年東日本台風（台風第19号） 災害における課題と対応策（令和2年8月18日作成 原文）	…75

第4章	～災害から5年～ 令和元年東日本台風（台風第19号）を 教訓とした防災に関する主な取り組み	…86
1	国・県の取り組み	…87
	(1) 国の取り組み	
	(2) 県の取り組み	
2	飯山市の取り組み	…93

はじめに

令和元年（2019年）10月12日（土）に日本列島に上陸した台風第19号は、東日本一帯の広い範囲で観測史上最大となる大雨を降らせ、飯山市においても甚大な被害が発生しました。

市では、避難情報を12日（土）の常盤・木島地区に発令したのを最初に、2地区23区に避難勧告、指示を発令し、ピーク時には市内11施設に1,400人を超える市民が避難をしました。

また、立ヶ花水位観測所では13日（日）3時20分に12.46m、飯山水位観測所で13日（日）7時に11.10mに達し、それぞれ過去最高となる水位を記録し、こうした状況下で、13日（日）未明に支川の皿川（一級河川）が氾濫し、市街地の浸水のほか、千曲川沿いの一部の地域でも氾濫が発生し、633戸が浸水被害を受けました。

この間、市では国・県の関係機関や消防団等と連携し、市民の生命・財産を守るための活動に尽力いたしましたが、市内各所で浸水被害が発生し、多くの市民が大切な財産に被害を受け、台風通過後も家財の片づけや生活再建に追われるなど、非常に残念な結果となりました。

この災害を教訓とすべく、市では区長会との意見交換会を実施し、また、対応にあたった職員からの反省事項等を踏まえ、令和2年8月に「令和元年東日本台風（台風第19号）災害における課題と対応策」を取りまとめ、洪水時の指定避難所を見直すとともに、事前の備えとして「マイ・タイムライン」の作成促進や「防災情報サービス」の周知、「メール配信サービス」の登録促進、「ハザードマップの改訂版」など、これまでの経験則だけに頼らず、正確な情報をもとに適切な避難行動をとることができるよう、一層の防災知識の普及啓発に努めてまいりました。

信濃川水系でも、国や県、関係市町村が連携し、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」として、堤防強化や整備、河道掘削などにより被害の軽減に向けた治水整備とともに、ため池や田んぼダムの活用、公共施設の雨水貯留施設の整備など地域が連携した浸水被害軽減対策の推進など、流域が一体となった防災・減災対策推進されてきました。また、近年の水害による甚大な被害を受けて、施設能力を超過する洪水が発生することを前提に、気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、あらゆる関係者が協働して行う、「流域治水」への転換や取り組みが始まっています。

災害は、時の経過とともに、人々の記憶から薄れていってしまいます。一方で、自然災害は、地球温暖化の影響により、今後も必ず起きうるものと考えなければなりません。そこで、市では、この災害の記録を風化させることなく、これからの災害対応に活かすため、本記録と災害から5年の主な取り組みを作成することといたしました。

市民の皆様におかれましても、避難をはじめとする自助・共助による防災行動を考えるためにお役立ていただければ幸いです。市といたしましても一層の防災体制の強化を図り、市民の皆様の安全・安心の向上のために努めてまいります。



令和元年（2019年）10月13日（日）飯山市役所から北方上空



令和元年（2019年）10月13日（日）北町区皿川上空



令和元年（2019年）10月13日（日）千曲川中央橋

第 1 章

令和元年東日本台風（台風第 19 号）の

概要と対応記録

～令和元年台風 19 号関連災害経過報告【第 9 報】

令和 2 年 9 月 30 日現在の記録から～

1 令和元年東日本台風の概要

(1) 令和元年台風第 19 号の概要

10月6日に南鳥島近海で発生した台風第19号は、マリアナ諸島を西に進み、一時大型で猛烈な台風に発達した後、次第に進路を北に変え、日本の南を北上し、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した。その後、関東地方を通過し、13日12時に日本の東で温帯低気圧に変わった。台風第19号の接近、通過に伴い、広い範囲で大雨、暴風、高波、高潮となった。

雨については、10日から13日までの総降水量が、神奈川県箱根で1,000ミリに達し、東日本を中心に17地点で500ミリを超えた。特に静岡県や新潟県、関東甲信地方、東北地方の多くの地点で3、6、12、24時間降水量の観測史上1位の値を更新するなど記録的な大雨となった。

この大雨について、10月12日15時30分から順次、静岡県、神奈川県、東京都、埼玉県、群馬県、山梨県、長野県、茨城県、栃木県、新潟県、福島県、宮城県、岩手県の1都12県に大雨特別警報を発表し、最大級の警戒を呼びかけた(13日8時40分までにすべて解除)。

風については、東京都江戸川臨海で最大瞬間風速43.8メートルとなり観測史上1位を更新したほか、関東地方の7か所で最大瞬間風速40メートルを超えた。また、台風の接近に伴って大気の状態が非常に不安定となり、千葉県市原市では竜巻と推定される突風が発生した。

波については、波高が静岡県石廊崎で13メートル、京都府経ヶ岬で9メートルを超える記録的な高波が観測された。高潮については、東京都三宅島で潮位230センチなど、静岡県や神奈川県、伊豆諸島で、過去最高潮位を超える値を観測したところがあった。

この大雨の影響で、広い範囲で河川の氾濫が相次いだほか、土砂災害や浸水害が発生した。これら大雨による災害及び暴風等により、人的被害や住家被害、電気・水道・道路・鉄道施設等のライフラインへの被害が発生した。また、航空機や鉄道の運休等の交通障害が発生した。

出典「台風第19号による大雨、暴風等」(気象庁)

(2) 令和元年台風第19号に関する長野県速報

10月12日から13日にかけて、台風第19号の影響により、長野県では非常に激しい雨が降り、強い風が吹いた所があった。

このため、長野市穂保地区での千曲川堤防の決壊などによる洪水や大雨で人的被害や建物などの被害、鉄道の運休や航空機の欠航、停電などの交通障害やライフラインへの影響があったほか、農業被害、土砂災害、浸水害、洪水害が発生した。また、記録的な大雨により、平成25年(2013年)8月の運用開始以来、県内43市町村に初めて大雨特別警報を発表した。さらに千曲川氾濫発生情報も発表した。この台風の接近・通過に伴い、長野県では10月12日0時から13日24時までの総降水量は、笠岳で322.5mm、鹿教湯で322.5mm、軽井沢で315.0mm、佐久市で303.5mm、北相木で395.5mmを観測し、北部と中部を中心に大雨となった。県内の14の観測地点で、日降水量の統計以来の極値を更新した。

出典「令和元年台風第19号に関する長野県気象速報」(長野地方気象台)

【大雨特別警報発表市町村(県内43市町村)】

長野市、松本市、上田市、岡谷市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、中野市、飯山市、茅野市、塩尻市(楷川)、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、小海町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、佐久穂町、軽井沢町、御代田町、立科町、青木村、長和町、富士見町、原村、辰野町、宮田村、木曾町、麻績村、生坂村、筑北村、坂城町、小布施町、高山村、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、飯綱町、栄村

図1 台風経路図

出典「台風第19号による大雨、暴風等」(気象庁)

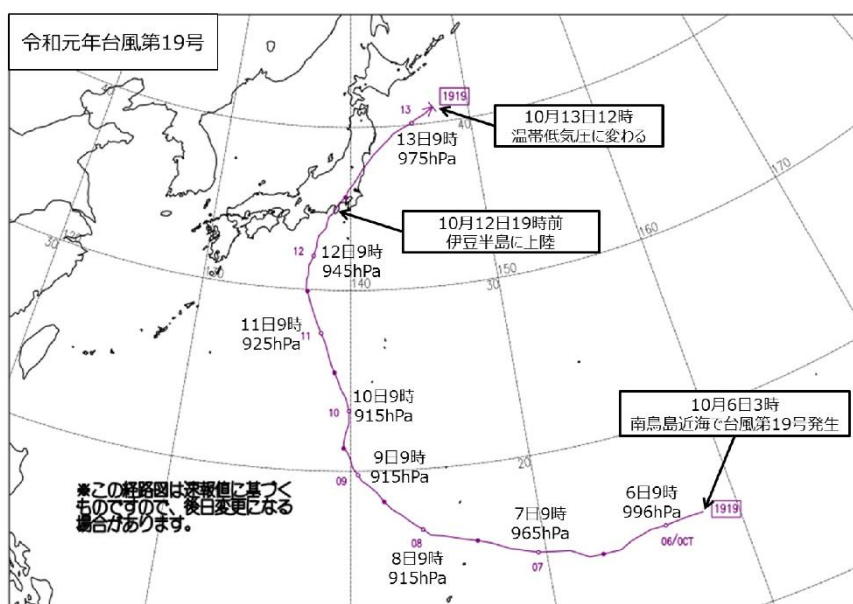
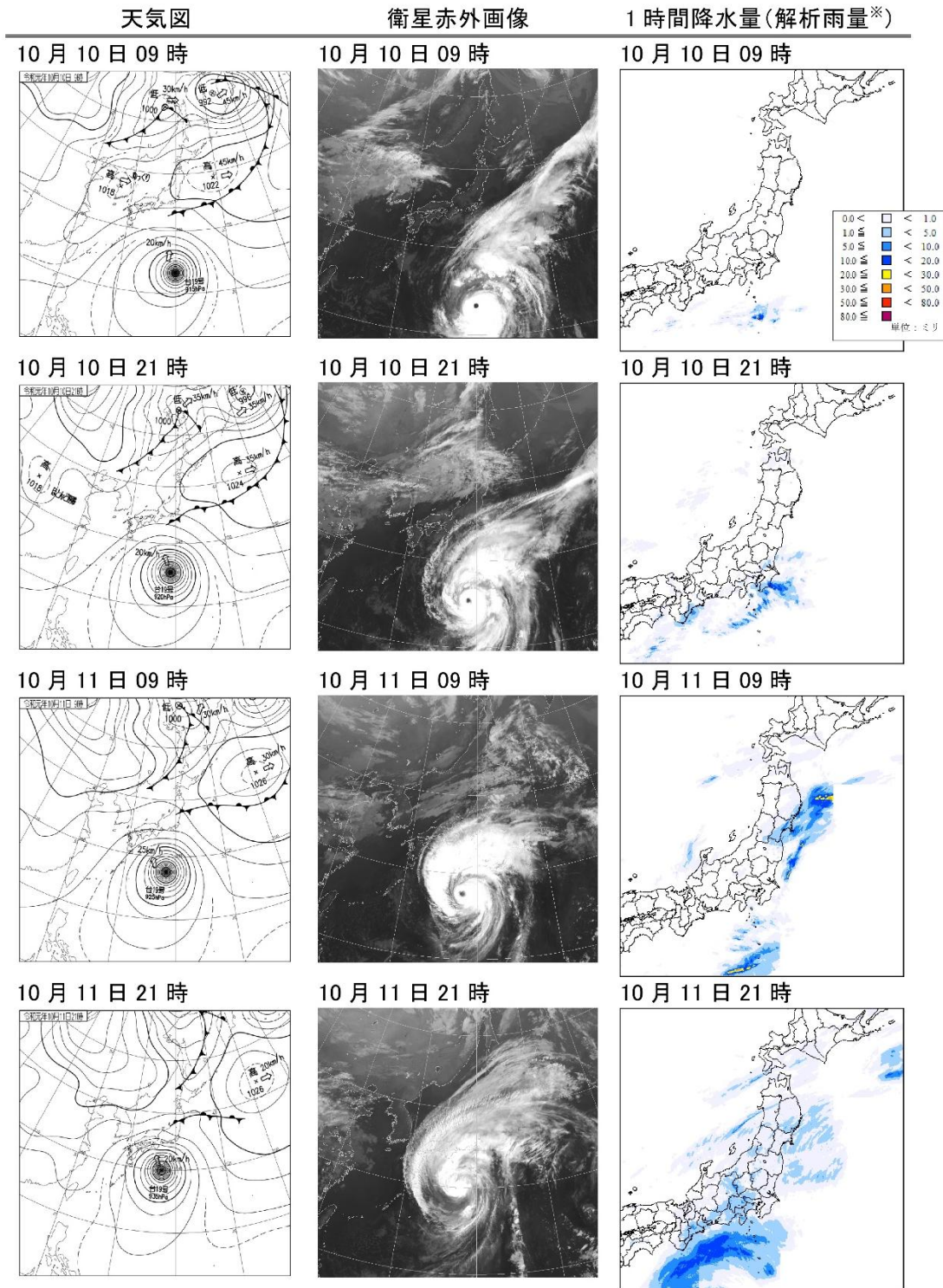


図2 天気図・衛星画像・雨量分布 出典「台風第19号による大雨、暴風等」(気象庁)



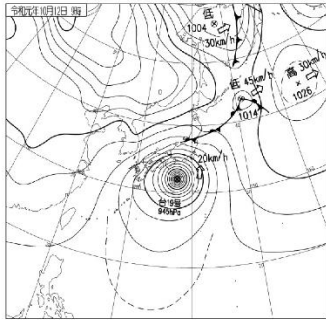
※解析雨量とは、気象レーダーと、アメダス等の雨量計を組み合わせ、雨量分布を1km四方の細かさで解析したもの。

天気図

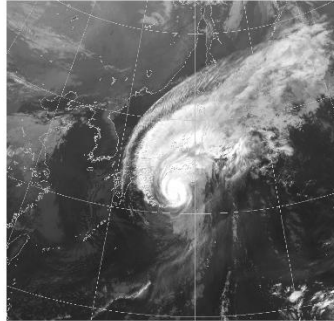
衛星赤外画像

1時間降水量(解析雨量)

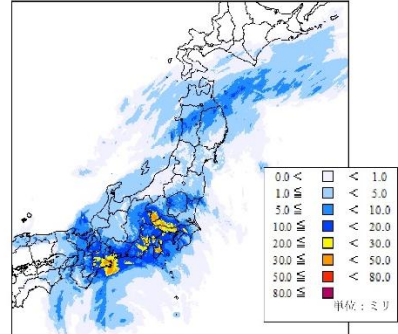
10月12日09時



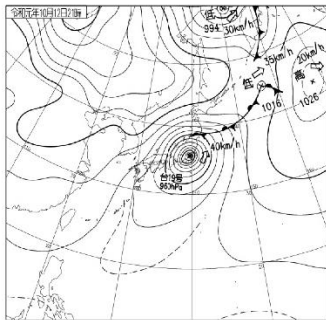
10月12日09時



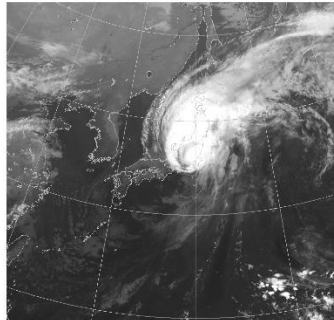
10月12日09時



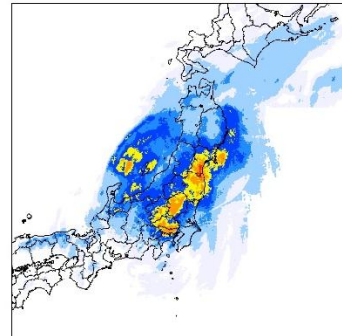
10月12日21時



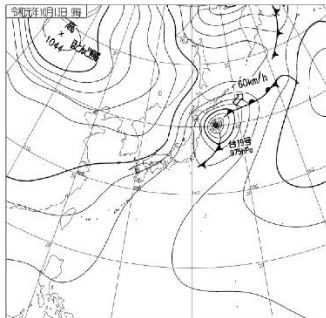
10月12日21時



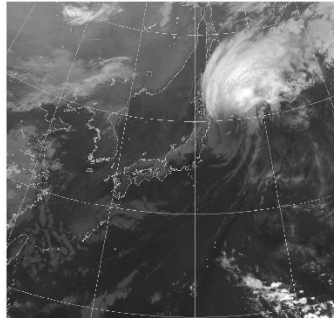
10月12日21時



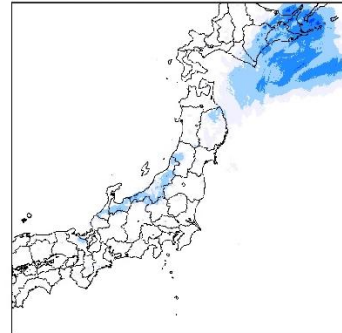
10月13日09時



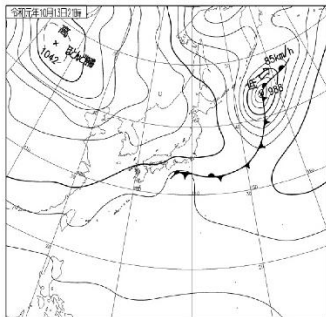
10月13日09時



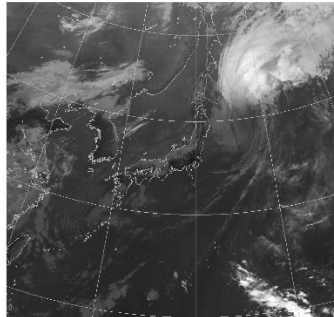
10月13日09時



10月13日21時



10月13日21時



10月13日21時



2 飯山市の気象状況

令和元年台風第19号により、飯山市には10月12日（土）10時56分に大雨警報、12時18分に洪水警報が発令された。台風の接近に伴い、12日（土）20時45分以降、大雨特別警報が発令された。

(1) 気象警報等の発表状況

① 気象警報

月日	時間	内容
10月12日（土）	7:40	大雨注意報 発表
	7:40	洪水注意報 発表
	10:56	大雨警報（土砂災害）発表
	12:18	洪水警報 発表
	14:39	大雨警報（土砂災害・浸水害）変更
	20:45	大雨特別警報（浸水害）発表
	23:11	大雨特別警報（土砂災害・浸水害）変更
10月13日（日）	0:57	大雨特別警報（土砂災害）変更
	3:20	大雨特別警報解除、 大雨警報（土砂災害）変更
	6:46	大雨警報 解除 注意報へ
10月14日（月）	7:48	大雨警報（土砂災害）発表
10月15日（火）	4:35	大雨警報 解除 注意報へ
	6:13	大雨警報（土砂災害）発表
	10:04	大雨警報 解除 注意報へ
	16:26	大雨注意報 解除

② 土砂災害警戒情報

月日	時間	内容
10月12日（土）	19:50	土砂災害警戒情報 発表
10月13日（日）	16:40	// 解除

③ 降水量情報

10月12日（土）午前11時～13日（日）午前11時までの24時間降水量

□斑尾観測所（市）	288mm	□富倉観測所（市）	207mm
□飯山観測所（市）	129mm	□飯山（アメダス）	122.5mm

④ 水位情報（千曲川）

□立ヶ花観測所

…最高水位 12.46m（10/13 AM3:20）【参考：S58.9（11.13m）】

□飯山観測所（中央橋下流水位計）

…最高水位 11.10m（10/13 AM7:00）【参考：S58.9（10.09m）】

観測所	小市（犀川・長野市）		生 田（上田市）		杭瀬下（千曲市）		立ヶ花（中野市）		飯山	
時刻	水位 (m)		水位 (m)		水位 (m)		水位 (m)		水位 (m)	
7:00	-2.88		-0.23		-0.41		-0.15			
8:00	-2.86	↑	-0.14	↑	-0.40	↑	0.08	↑		
9:00	-2.88	↓	0.09	↑	-0.38	↑	0.19	↑		
10:00	-2.86	↑	0.34	↑	-0.21	↑	0.25	↑		
11:00	-2.80	↑	0.72	↑	-0.09	↑	0.32	↑		
12:00	-2.48	↑	1.36	↑	0.26	↑	0.40	↑		
13:00	-2.69	↓	1.87	↑	0.58	↑	0.53	↑		
14:00	-2.58	↑	2.55	↑	1.17	↑	0.85	↑		
15:00	-2.45	↑	3.10	↑	1.90	↑	1.32	↑		
16:00	-2.26	↑	3.63	↑	2.76	↑	1.80	↑		
17:00	-2.09	↑	4.32	↑	3.96	↑	2.37	↑		
18:00	-1.90	↑	5.17	↑	4.92	↑	3.05	↑		
19:00	-1.48	↑	5.43	↑	5.85	↑	3.82	↑	3.50	
20:00	-0.99	↑	5.76	↑	6.30	↑	4.69	↑	欠測	↑
21:00	-0.59	↑	5.80	↑	6.36	↑	5.70	↑	4.80	↑
22:00	-0.31	↑	5.59	↓	6.39	↑	6.71	↑	5.60	↑
23:00	-0.12	↑	5.44	↓	6.34	↓	8.45	↑	6.35	↑
2019/10/13 0:00	-0.01	↑	5.11	↓	6.16	↓	10.14	↑	7.18	↑
1:00	0.03	-	4.54	↓	5.80	↓	11.33	↑	8.00	↑
2:00	-0.06	↓	4.12	↓	5.36	↓	12.10	↑	8.86	↑
3:00	-0.22	↓	3.65	↓	4.95	↓	12.43	↑	9.58	↑
4:00	-0.43	↓	3.27	↓	4.55	↓	12.44	↑	10.20	↑
5:00	-0.68	↓	2.87	↓	4.19	↓	12.10	↓	10.70	↑
6:00	-0.93	↓	2.55	↓	3.86	↓	11.49	↓	10.98	↑
7:00	-1.17	↓	2.29	↓	3.59	↓	10.84	↓	11.10	↑
8:00	-1.37	↓	2.13	↓	3.34	↓	10.22	↓	10.96	↓
9:00	-1.53	↓	1.98	↓	3.12	↓	9.66	↓	10.70	↓
10:00	-1.65	↓	1.88	↓	2.93	↓	9.14	↓	10.40	↓
11:00	-1.75	↓	1.73	↓	2.75	↓	8.70	↓	10.05	↓
12:00	-1.84	↓	1.60	↓	2.57	↓	8.37	↓	9.68	↓
13:00	-1.92	↓	1.50	↓	2.41	↓	8.07	↓	9.34	↓
14:00	-1.98	↓	1.40	↓	2.38	↑	7.78	↓	8.99	↓
15:00	-2.04	↓	1.29	↓	2.26	↓	7.50	↓	8.68	↓
16:00	-2.12	↓	1.22	↓	2.16	↓	7.21	↓	8.38	↓
17:00	-2.20	↓	1.13	↓	2.06	↓	6.91	↓	8.16	↓
18:00	-2.27	↓	1.06	↓	1.95	↓	6.61	↓	7.85	↓
19:00	-2.34	↓	0.99	↓	1.79	↓	6.29	↓		
20:00	-2.41	↓	0.93	↓	1.70	↓	5.95	↓		
21:00	-2.49	↓	0.89	↓	1.63	↓	5.57	↓		
22:00	-2.55	↓	0.84	↓	1.54	↓	5.13	↓		
23:00	-2.59	↓	0.81	↓	1.47	↓	4.70	↓		
2019/10/14 0:00	-2.63	↓	0.76	↓	1.41	↓	4.32	↓		

	小市（犀川・長野市）	生 田（上田市）	杭瀬下（千曲市）	立ヶ花	飯山
計画高水位	5.03	5.75	5.42	10.75	—
はん濫危険水位	1.80	5.00	5.00	9.60	—
避難判断水位	1.50	4.50	4.60	9.10	—
はん濫注意水位	0.00	1.90	1.60	5.00	—
水防団待機水位	-0.50	0.80	0.70	3.00	—

3 災害対策本部等の設置、会議状況

飯山市では、令和元年（2019年）10月12日（土）8時30分に台風第19号接近に対する警戒本部設置を設置し、13日（日）0:30に災害対策本部に切り替えた。同時に第1回災害対策本部会議を開催し、災害対策本部閉鎖までの計46回の会議を重ね、台風に対する対応や避難情報発令の決定、避難所開設の決定及び防災関係機関との協議を行った。

(1) 本部体制

令和元年（2019年）10月12日（土） 8:30

「飯山市台風第19号接近に対する警戒本部設置」

令和元年（2019年）10月13日（日） 0:30

「飯山市台風第19号接近に対する災害対策本部」に切替

令和元年（2019年）11月20日（水）17:00

「台風第19号に対する飯山市復興推進本部」に切替（継続中）

(2) 本部等会議の開催

- ① 飯山市台風第19号接近に関する庁議 全3回開催
- ② 飯山市台風第19号接近に対する警戒本部会議全2回開催
- ③ 飯山市台風第19号接近に対する対策本部会議全46回開催
- ④ 台風第19号に対する飯山市復興推進本部会議全12回開催（継続中）



4 避難情報・避難所の状況

(1) 避難情報発令状況

月日 令和元年（2019年）	時間	対象地区	発令情報
10月12日（土）	20:15	常盤・木島地区	避難準備 情報
	20:45	常盤・木島地区	避難勧告
10月13日（日）	2:30	大深（一部）	避難勧告
	2:50	上組（一部）・中山根（一部）・ 伍位野（一部）	避難勧告
	3:20	北町	避難勧告
	4:00	有尾地区（皿川沿い一部）	避難勧告
	4:00	大久保（バイパス沿い一部）	避難指示
	4:50	田町	避難勧告
	5:30	関沢（一部）	避難勧告
	5:30	戸那子・中組（一部）・富田（一 部）	避難勧告
	5:30	桑名川（馬場）	避難勧告
	6:40	福寿町・本町・肴町・上町・新 町・鉄砲町・奈良沢・栄町・県 町・北畑	避難勧告
9:15	木島・常盤（冠水部分を除く）・ 伍位野・上組・中山根・戸那子・ 中組・富田	避難勧告 解除	
10月14日（月）	9:00	市内に発令していた全ての地域	避難指示・ 勧告 解除

(2) 避難所の開設状況

令和元年（2019年）10月12日（土）21:30

- ・初動設置箇所 城南中（50名）
城北中（50名）
木島平村若者センター（90名）
《以降順次拡大》
- ・ピーク避難者数 城南中（300名）
城北中（292名）
木島平村【若者センター・体育館】（250名）

瑞穂地区活性化センター（98名）
 上組集落センター（53名）
 岡山地区活性化センター（30名）
 中山根集落センター（11名）
 秋津地区活性化センター（9名）
 大久保センター（8名）
 富倉地区活性化センター（2名）
 飯山市公民館（358名）

令和元年（2019年）10月28日（月）10：00 避難者なし
 （最終開設避難所：飯山市公民館 閉鎖）

5 樋門、樋管、ポンプ等の対応

(1) 樋門等の対応状況

月日 令和元年（2019年）	時間	内容
10月12日（土）	午前中	木島坂井樋門 閉鎖確認
	午前中	小沼中島樋門 閉鎖
	14:30	木島第1・第2排水機場 運転開始
	19:17	木島雨水排水ポンプ場 1号機運転開始
	20:30	戸那子樋門閉鎖（ポンプ稼働中）
	20:35	御立野排水路ゲート 閉鎖
	20:40	御立野排水路ポンプ 稼働
	20:50	城山雨水排水ポンプ場 1号機運転開始
	21:00	城山雨水排水ポンプ場 2号機運転開始
	21:00	彦四郎排水ポンプ（3台）稼働
10月13日（日）	2:00頃	皿川樋門閉鎖 （国管理、操作員から1:44に閉鎖の報告あり）

(2) 排水ポンプ車の配置

10月12日（土）～14日（月）

排水ポンプ車 国土交通省 4台、長野県 2台、飯山市 1台

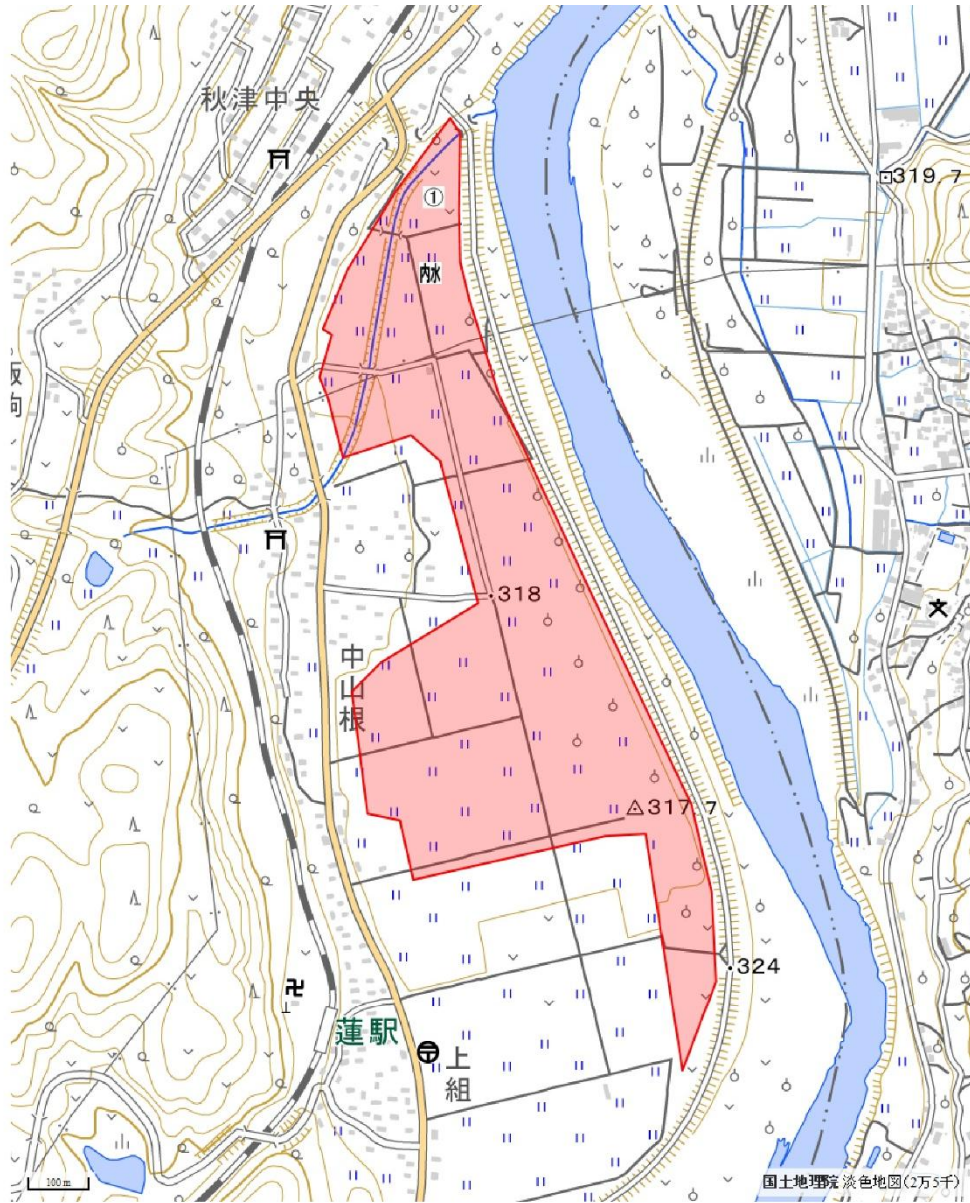
配置場所 広井川 1台 配置
 今井川 3台 配置
 皿川並びに市街地 6台 配置

6 被害の状況

(1) 浸水被害のエリア

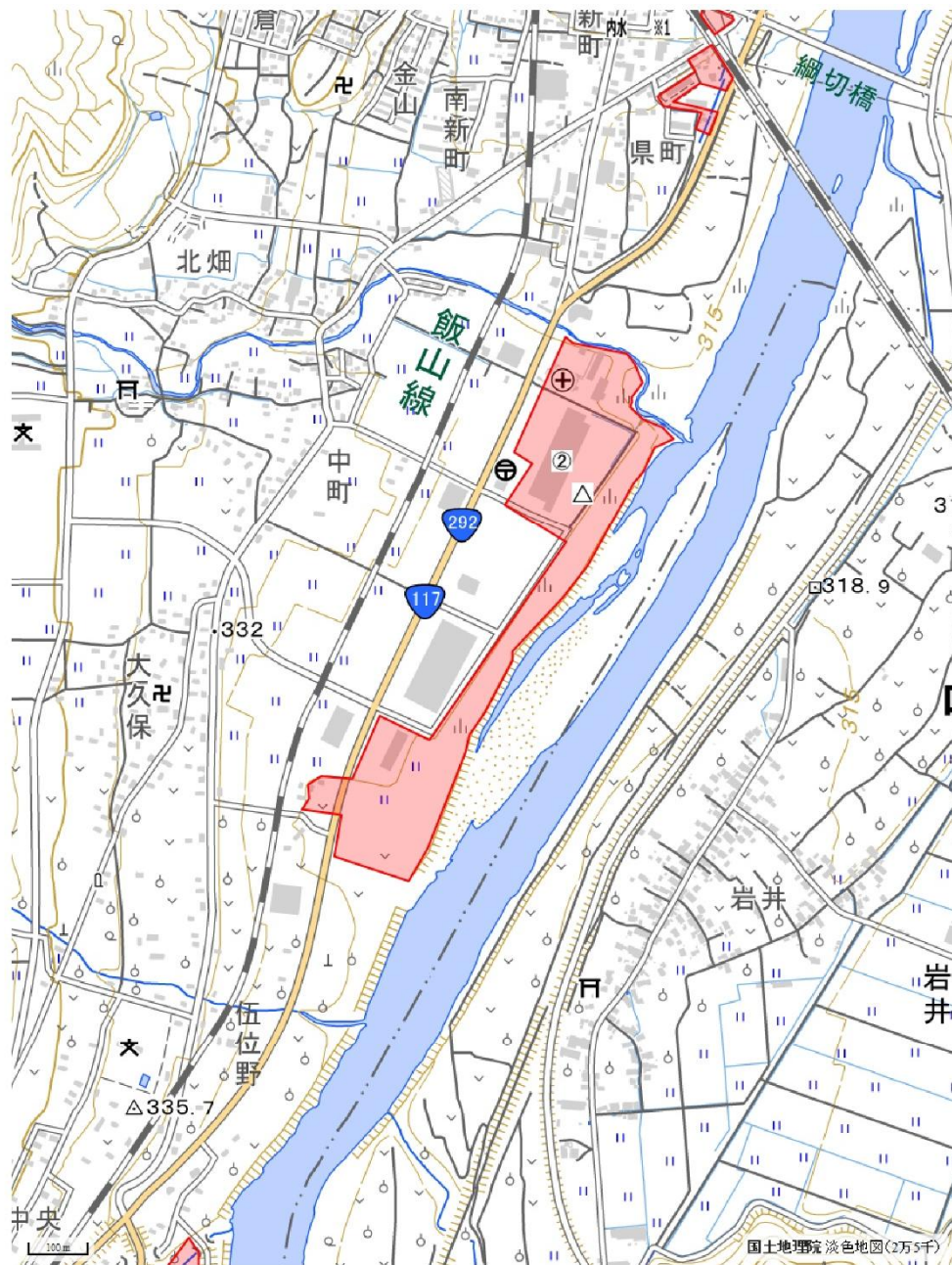
令和元年水害統計調査より

① 秋津地区 宮沢川周辺



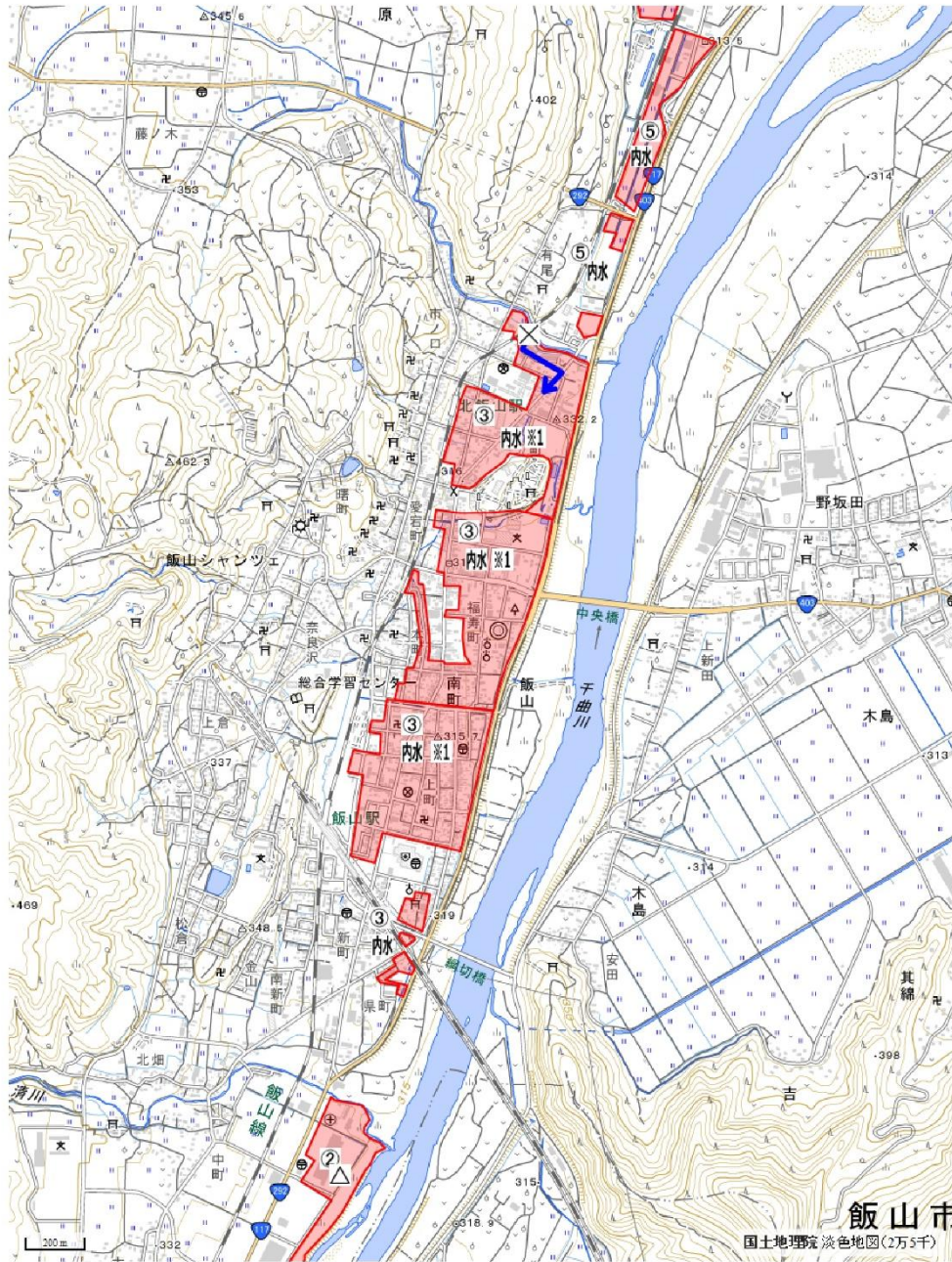
凡例		水害発生原因		都道府県コード	市区町村コード	水害区域番号	備考
■水害区域	■水害発生原因	破堤	×	2	02013	001~001	
■浸水被害	有堤部溢水	無堤部溢水	○	長野県		飯山市	水害区域図
■土砂被害	土石流、地すべり、急傾斜地崩壊	その他	□	縮尺	1/25,000	枝番	1/1
■浸水・土砂被害	「内水」「窪地内水」「洗掘・流出」	「高潮」「津波」「波浪」の文字		2019年10月13日		~	2019年10月14日
■地下浸水被害	■氾濫水又は土砂の移動状況	←		異常気象名		令和元年台風第19号	
■水害区域番号							
①~②②②							

② 秋津地区 静間バイパス周辺



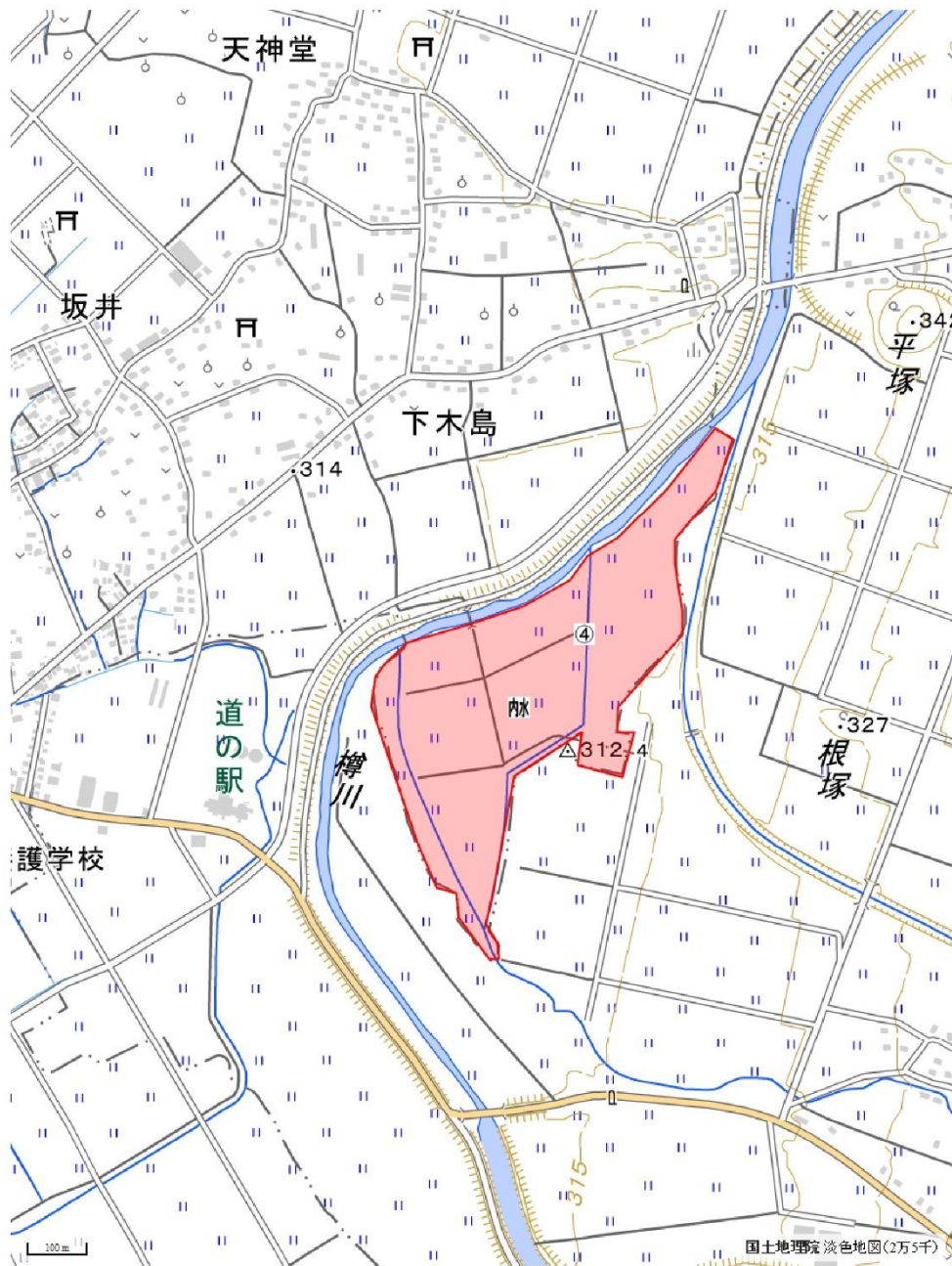
凡例		水害発生原因		郵政庁振 コード	市区町村コード	水害区域番号	備考
■水害区域	■水害発生原因	破堤	×	2	0	0	
浸水被害	有堤部溢水	有堤部溢水	○	0	2	0	
土砂被害	無堤部溢水	無堤部溢水	△	2	1	3	
浸水・土砂被害	土石流、地すべり、急傾斜地崩壊	土石流、地すべり、急傾斜地崩壊	□	長野県		飯山市	
地下浸水被害	その他「内水」「産地内水」「洗掘」「流出」	その他「内水」「産地内水」「洗掘」「流出」	◆	202		002	水害区域図
■水害区域番号 ①~②00	■氾濫水又は土砂の移動状況	氾濫水又は土砂の移動状況	←	縮尺		1/25,000	枝番
				2019年10月13日		~	2019年10月14日
				異常気象名 令和元年台風第19号			

③ 飯山地区周辺



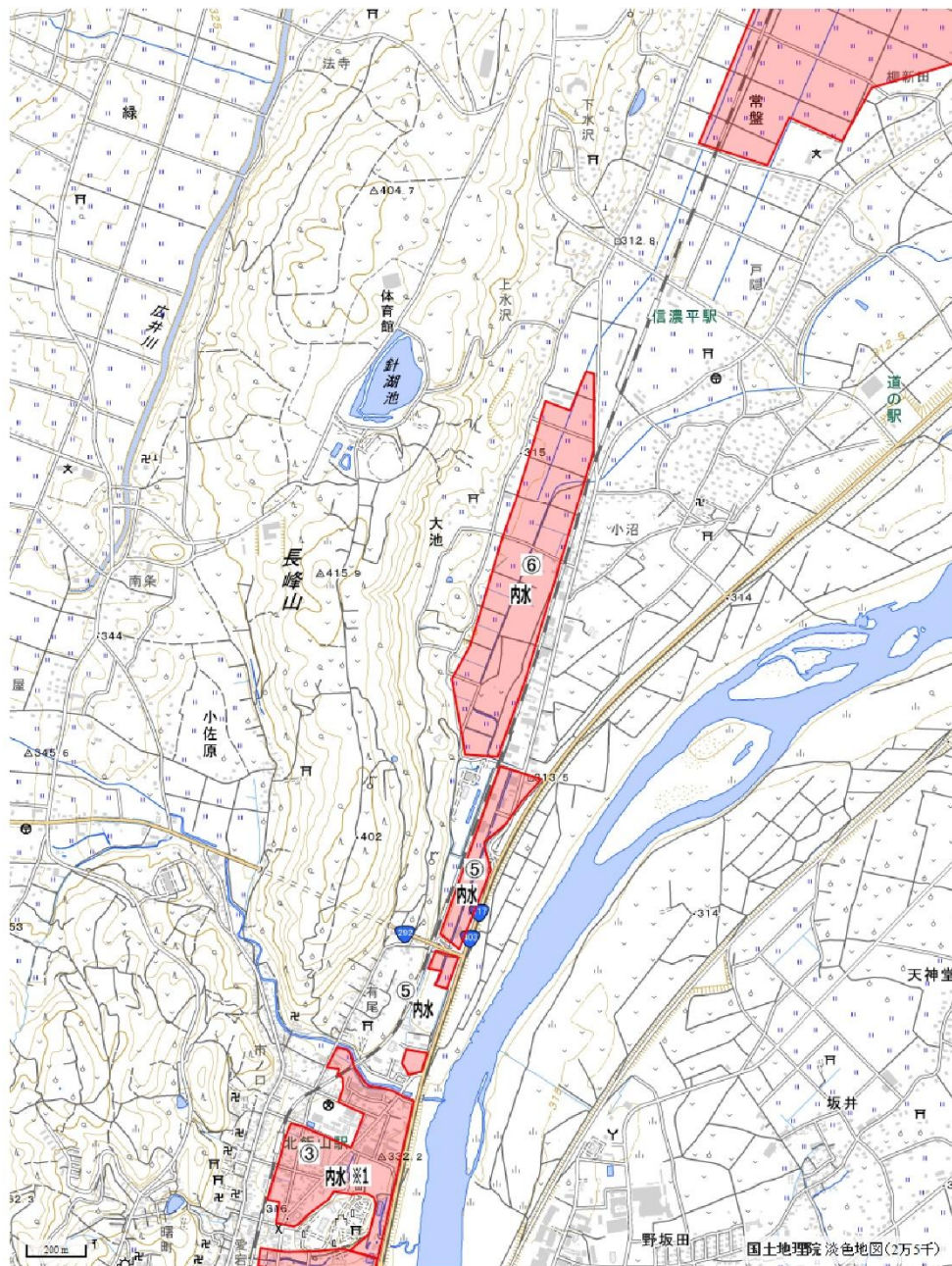
凡例		郵送府県コード		市区町村コード		水害区域番号		備考		
■水害区域	■水害発生原因	2	0	2	1	3	0	0	【※1について】 水害区域番号3：支川（血川）の破堤による内水氾濫	
浸水被害	破堤 ×							0		3
土砂被害	有堤部氾水 ○							0		3
浸水・土砂被害	無堤部氾水 △	長野県 飯山市 水害区域図								
地下浸水被害	土石流、地すべり、急傾斜地崩壊 □	縮尺		1/25,000		枝番		1/1		
	その他 「内水」「窪地内水」「洗掘・流出」「高潮」「津波」「波浪」の文字	2019年10月13日		～		2019年10月14日				
■水害区域番号 ①～⑩	■氾濫水又は土砂の移動状況 ←	異常気象名		令和元年台風第19号						

④ 木島地区周辺



凡例		都道府県コード		市区町村コード		水害区域番号		備考	
■水害区域	■水害発生原因	2	0	2	1	3	0		長野県 飯山市 水害区域図
■浸水被害	× 破堤	0	0	4	~	0	0		
■土砂被害	○ 有堤部溢水							4	
■浸水・土砂被害	○ 無堤部溢水								
■地下水被害	△ 土石流、地すべり、急傾斜地崩壊								
	□ その他 「内水」「窪地内水」「洗掘」「流出」								
■水害区域番号	■氾濫水又は土砂の移動状況								
①~②③	←								
		縮尺		2019年10月13日 ~ 2019年10月14日		異常気象名			
		1/25,000				令和元年台風第19号			

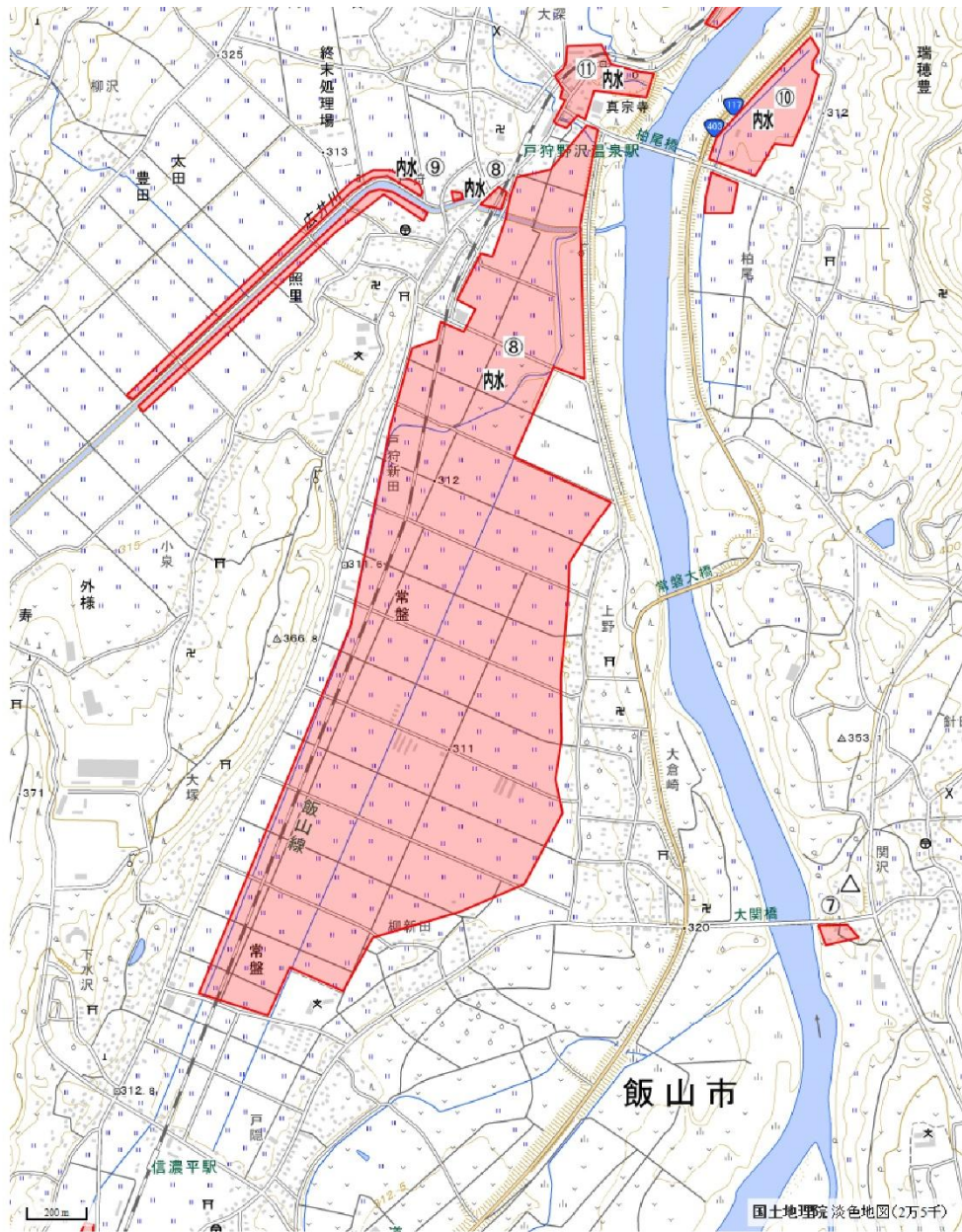
⑤ 飯山地区北部、常盤地区南部周辺



凡例	
■ 水害区域	■ 水害発生原因
■ 浸水被害	■ 破堤 ×
■ 土砂被害	■ 有堤部溢水 ○
■ 浸水・土砂被害	■ 無堤部溢水 △
■ 地下浸水被害	■ 土石流、地すべり、急傾斜地崩壊 □
■ 水害区域番号	■ その他 「内水」「窪地内水」「洗掘・流出」
①～②⑩	■ 「高潮」「津波」「波浪」の文字
	■ 氾濫水又は土砂の移動状況
	←

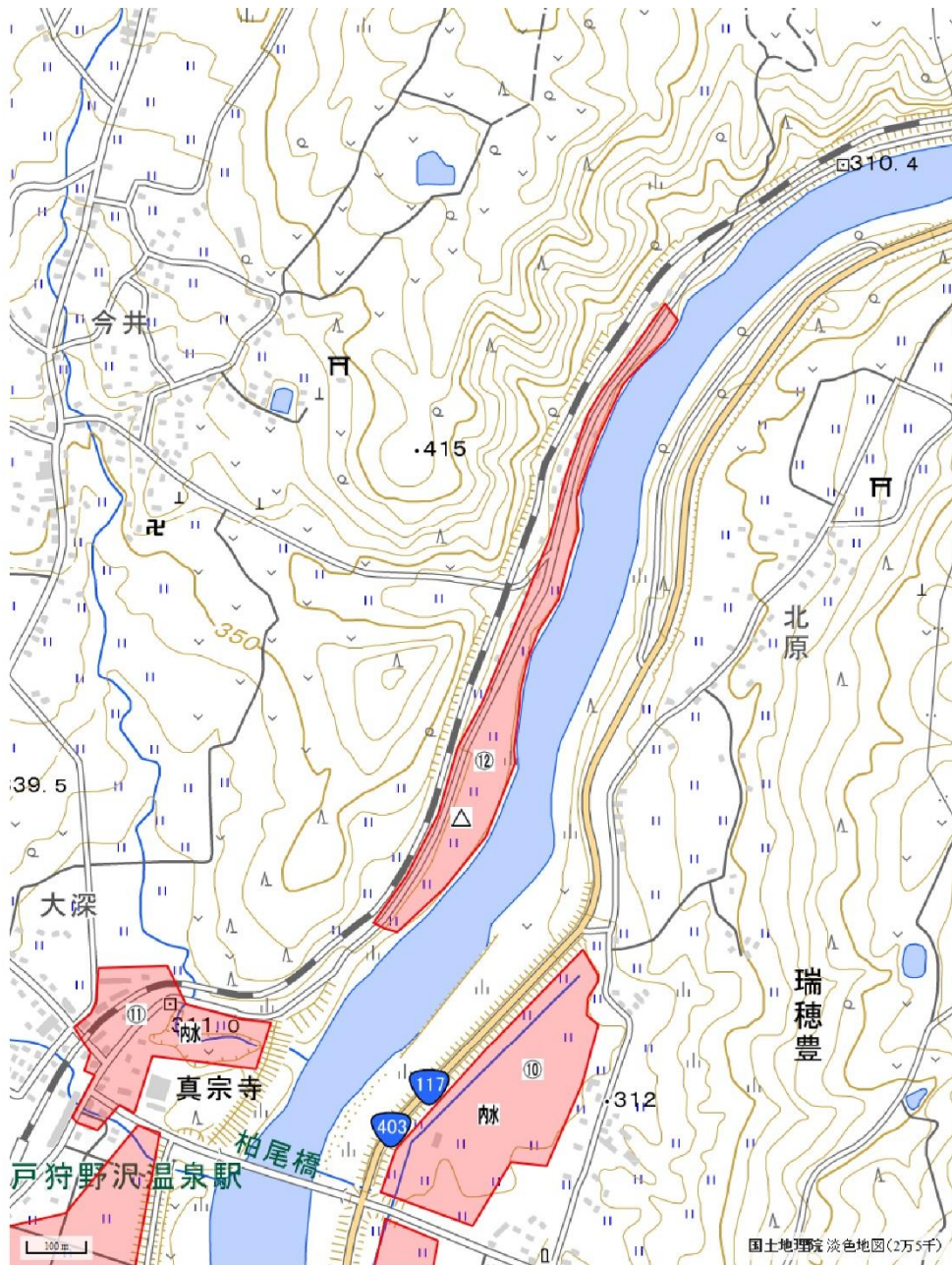
都道府県コード	市区町村コード	水害区域番号	備考
20213	005	006	
長野県 飯山市		水害区域図	
縮尺	1/25,000	枝番	1/1
2019年10月13日		～ 2019年10月14日	
異常気象名	令和元年台風第19号		

⑥ 常盤地区、太田（大深）、瑞穂地区（柏尾）周辺



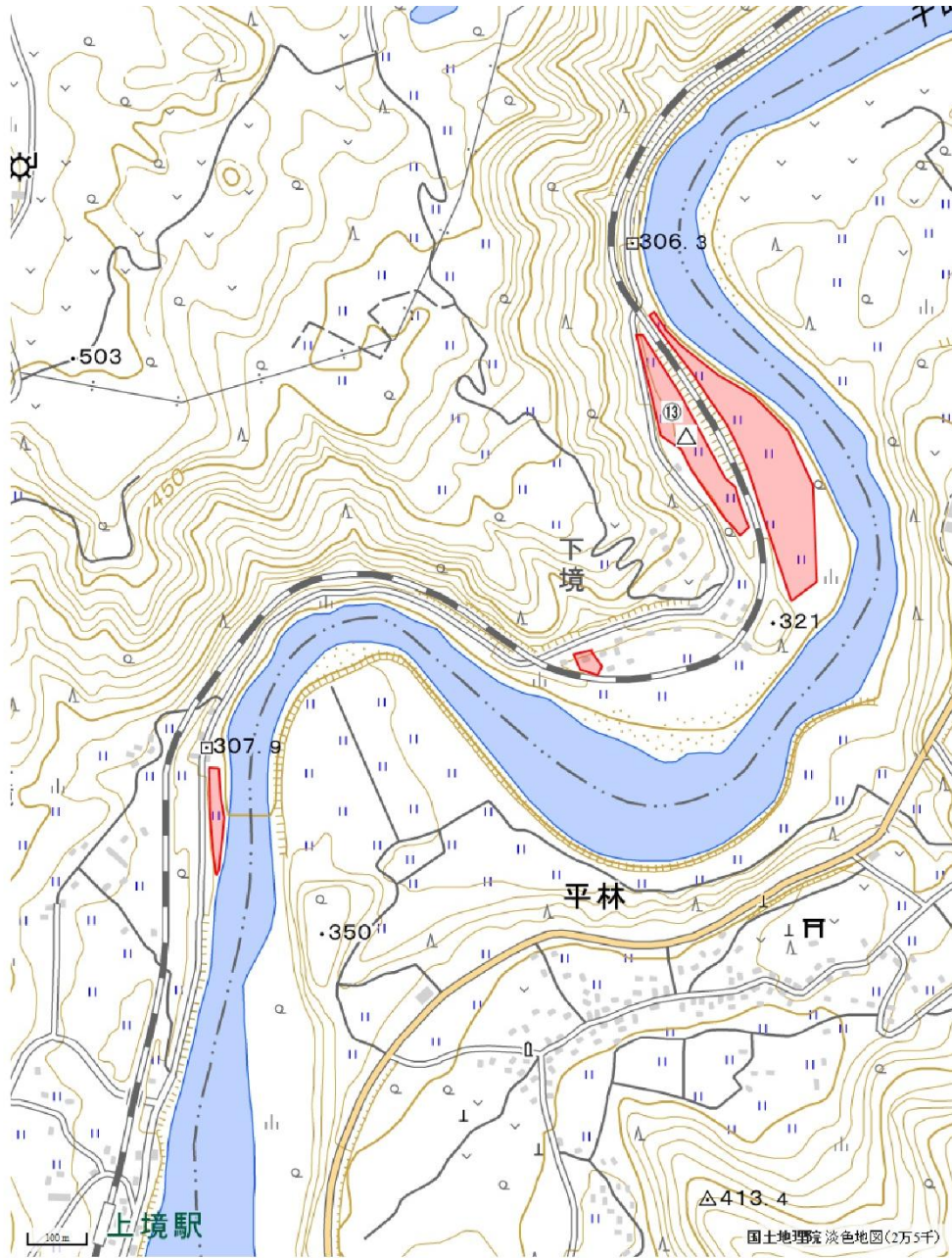
凡例	■水害発生原因	郵便局 コード	市区町村コード	水害区域番号	備考
■水害区域	■破堤 ×	2 0 2 1 3	長野県 飯山市	0 0 7 ~ 0 1 1	
■浸水被害	■有堤部溢水 ○	長野県 飯山市 水害区域図			
■土砂被害	■無堤部溢水 △	縮尺	1/25,000	枝番	1/1
■浸水・土砂被害	■土石流、地すべり、急傾斜地崩壊 □	2019年10月13日 ~ 2019年10月14日			
■地下浸水被害	◆ その他 「内水」「窪地内水」「洗掘・流出」 「高潮」「津波」「波浪」の文字	異常気象名 令和元年台風第19号			
■水害区域番号 ①~⑩	■氾濫水又は土砂の移動状況 ←				

⑦ 太田（今井、大深）、瑞穂（柏尾）周辺



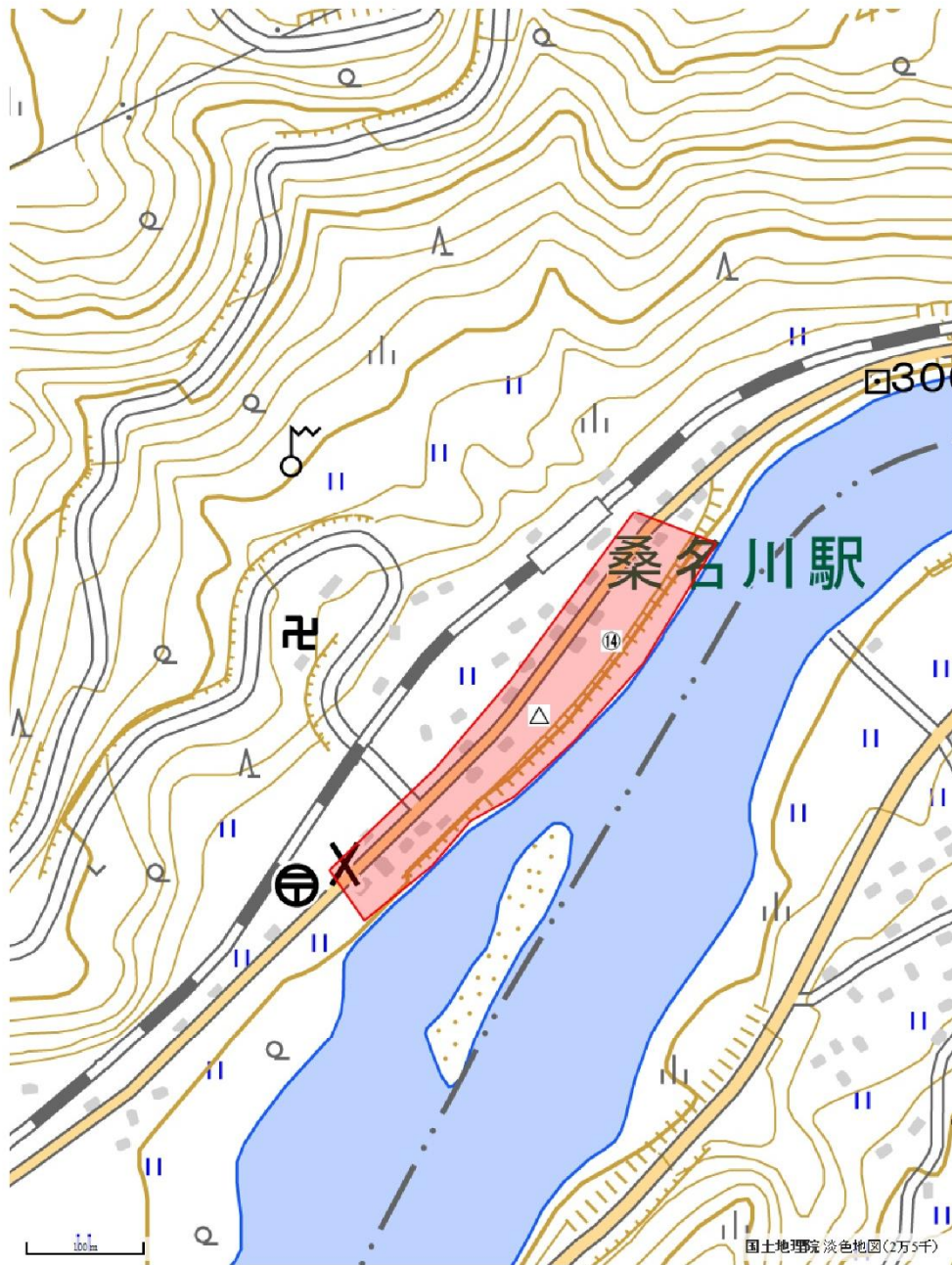
凡例	水害発生原因	都道府県コード	市区町村コード	水害区域番号	備考
■水害区域	■水害発生原因	2	0	2	0
浸水被害	破堤 ×	2	1	3	0
土砂被害	有堤部溢水 ○	2	1	3	1
浸水・土砂被害	無堤部溢水 △	2	1	3	2
地下浸水被害	土石流、地すべり、急傾斜地崩壊 □	長野県 飯山市 水害区域図			
	その他 「内水」「窪地内水」「洗掘・流出」	縮尺	1/25,000	枝番	1/1
■水害区域番号	■氾濫水又は土砂の移動状況	2019年10月13日 ~ 2019年10月14日			
①~②③	←	異常気象名 令和元年台風第19号			

⑧ 岡山地区 下境周辺



凡例		水害発生原因		自治体コード	市区町村コード	水害区域番号	備考
■水害区域	■水害発生原因	破堤	×	2	0	2	
■浸水被害	■有堤部溢水	有堤部溢水	○	2	0	2	
■土砂被害	■無堤部溢水	無堤部溢水	△	2	0	2	
■浸水・土砂被害	■土石流、地すべり、急傾斜地崩壊	土石流、地すべり、急傾斜地崩壊	□	長野県		飯山市	水害区域図
■地下水被害	■その他	その他	◆	縮尺		1/25,000	枝番
■水害区域番号	■冠氾水又は土砂の移動状況	冠氾水又は土砂の移動状況	←	2019年10月13日		~	2019年10月14日
①~②⑩				異常気象名		令和元年台風第19号	

⑨ 岡山地区 桑名川



凡例		都道府県コード	市区町村コード	水害区域番号	備考
■水害区域	■水害発生原因	2	0 2 1 3	0 1 4 ~ 0 1 4	
■浸水被害	破堤 ×	長野県 飯山市 水害区域図			
■土砂被害	有堤部溢水 ○	縮尺	1/25,000	枝番	1/1
■浸水・土砂被害	無堤部溢水 △	2019年10月13日 ~ 2019年10月14日			
■地下浸水被害	土石流、地すべり、急傾斜地崩壊 □	異常気象名	令和元年台風第19号		
	その他 「内水」「窪地内水」「洗掘・流出」「高潮」「津波」「波浪」の文字				
■水害区域番号	■氾濫水又は土砂の移動状況				
①~②00	←				

(2) 人的被害の状況

死者（災害関連死）1名【当時70代男性 令和2年（2020年）3月30日認定】

重症 1名

軽症 4名

(3) 住家浸水被害状況

被害の程度	飯山	南町	静間	瑞穂	照里	常郷	一山	照岡	緑	計
大規模半壊	37			1						38
半壊	82	58	4	1		2	1	4		152
一部破損（準半壊）	15	6	3			1				25
一部損壊（10%未満）	261	142	9	1	1	3			1	418
計	395	206	16	3	1	6	1	4	1	633

（令和2年（2020年）9月30日現在 調査済家屋・店舗併用住宅含む 単位：件）

(4) 事業所浸水被害状況

173件（店舗併用住宅含む。倉庫、車両被害のみの事業所あり）

(5) 公的施設等における被災状況と復旧対応

① 道路・河川関係

- ・道路被害 崩落箇所等 計62か所
- ・道路付帯施設被害（消パイ、流雪溝制御盤）5か所
- ・河川被害（護岸崩落、土砂流出）2か所
- ・市内道路の路面清掃及び側溝清掃

令和元年（2019年）10月15日（火）～10月31日（木）完了

（北町～新町）

国土交通省、十日町市及び市内建設業者による排土と清掃

・土木公共施設等被害（復旧）

種類	箇所数	金額（千円）
道路	62	100,024
道路付帯施設（消パイ、流雪溝制御盤）	5	3,720
河川	2	298
市道路面側溝等堆積土砂除去、清掃		26,275
計	69	130,317

（令和4年（2022年）8月31日現在）

② 農林関係

- ・圃場湛水 田(370ha)・畑(150ha)
- ・施設浸水他 きのこ施設、養鶏場、ビニールハウス、養豚場

・農業・農林施設等被害

種類	箇所数	金額(概算)千円
農業・農林施設災害(国庫補助)	19	59,689
農業・農林施設災害(市単)	41	19,481
農業集落排水施設災害(国庫補助)	2	18,000
稲わら撤去事業	1	53,753
堤外農地(田)土砂撤去(国庫補助)	4	8,627
計	67	123,350

(令和4年(2022年)8月31日現在)

・稲わら堆積被害(堤内)、土砂堆積被害(堤外)

稲わら堆積(堤内)	土砂堆積(堤外)	計
5,500a	19,580a	25,080a

・堤外農道の土砂(泥)の堆積被害

地区名	堆積延長(km)
飯山	1.2
木島	3.2
常盤	11.2
岡山	0.8
計	16.4

【復旧状況】

- ・農業・農業施設災害(国庫補助) : 20箇所 事業完了
- ・農業・農業施設災害(市単) : 復旧工事40箇所 事業完了
- ・農業集落排水施設災害(国庫補助) : 事業完了
- ・稲わら撤去事業(国庫補助) : 985m³ 事業完了
- ・堤外農地(田)土砂撤去(国庫補助) : 事業完了
- ・被災農業機械復旧(国庫補助) : 22人39件申請、
21人38件完了(1件取下げ)

③ 上下水道関係

・施設関係被害

種類	箇所数	金額（千円）
下水道ポンプ関係	7	応急復旧 16,746
		有尾汚水中継ポンプ場本復旧 76,650
		マンホールポンプ場本復旧 27,500
木島雨水排水ポンプ場排水路	1	1,540
計	8	122,436

（令和4年（2022年）8月31日現在）

【復旧状況】

・有尾汚水中継ポンプ場浸水被害

令和元年（2019年）10月14日（月）20:45 応急復旧

本復旧は、国庫補助災害復旧事業により、施設の復旧に併せて浸水対策の改良工事も行い、令和2年（2020年）6月29日復旧完了

・下水道マンホールポンプ（MP）の浸水被害と復旧

施設名	応急復旧		復旧完了	
秋津幹線第1MP	令和元年 (2019年)	10月14日(月)	令和2年 (2020年)	5月29日(金)
静間バイパスMP		10月15日(火)		
城山東MP		10月20日(日)		
福寿町MP		10月31日(木)		
関沢第1MP		10月14日(月)		
桑名川9号MP		10月14日(月)		

・木島雨水排水ポンプ場排水路土砂堆積と復旧

施設区分	応急復旧		復旧完了	
堤外排水路	令和元年 (2019年)	10月25日(金)	令和2年 (2020年)	3月28日(土)
ポンプ場内排水路	—	—		7月2日(木)

・城山雨水排水ポンプ場の浸水被害と復旧

期日		状況・復旧等	備考
令和元年 (2019年)	10月13日(日)	7:15 ポンプ異常停止	床上80cmの浸水による

	10月16日(水)	現地調査実施	メーカー技術者によるダメージ調査
令和2年 (2020年)	1月31日(金)	災害査定完了	復旧工事12月発注
	4月28日(火)	復旧完了	

- ・都市下水路土砂撤去…令和元年(2019年)12月4日(水)
～12日(木)の間で作業実施済(上町区)

④ 市営住宅被害

種類	箇所数	金額(概算)千円
新町団地 応急復旧(水道・電気等)等	1式	389
新町団地 本復旧 ・住戸 ・水道ポンプ ・エレベーター ・自動ドア	2戸 2基 1基 1基	12,738
福寿町団地、福寿町住宅(床下浸水)等	1式	688
計		13,815

(令和4年(2022年)8月31日現在)

【復旧状況】

- ・市営住宅 電気・水道応急復旧
令和元年(2019年)10月14日(月)完了 国庫補助災害申請済み
発注(令和2年(2020年)1月17日(木)契約)
竣工(令和2年(2020年)3月27日(金))
- ・市営住宅被災者一時入居関係
令和2年(2020年)9月30日現在 …12戸17名入居
令和4年(2022年)8月31日現在 …入居者なし

⑤ 公費解体

令和2年(2020年)6月30日(火)受付終了、
令和3年(2021年)2月完了
公費解体 38件、自費解体償還 18件 合計56棟
金額141,845千円

(令和4年(2022年)8月31日現在)

⑥ 学校・保育園等関係

対象箇所	被害等状況
飯山小学校	床下浸水、調理室地下冠水 グラウンド及びプール等泥堆積 ・令和元年（2019年）10月17日（木）学校再開 ・令和2年（2020年）3月グラウンド復旧
しろやま保育園	床下浸水 プール施設破損、園庭他泥堆積、 プール改修
あきは保育園	床下浸水 園庭ほか泥堆積、園庭倉庫浸水による 遊具等に被害
瑞穂保育園	園庭に倒木（園児等に被害なし）撤去済み
子ども館きらら	花壇等泥堆積
旧二中プール	機械類浸水 プール泥堆積 旧二中プール廃止（令和2年（2020年）より）
	総額 9,115 千円

⑦ 市役所庁舎被害

- ・1階フロア改修及びネットワーク配線等本復旧（OA 707-化） 27,940 千円
 - ・冷暖房用ファンコイル復旧 7,040 千円
 - ・非常用放送設備復旧 4,785 千円
 - ・給水ポンプユニット本復旧 3,575 千円
 - ・車両購入 11 台 15,935 千円
 - ・消火栓ポンプユニット本復旧 3,509 千円
 - ・机、イス、キャビネット等購入 1,739 千円
 - ・レンタカー、リース車の借上げ 3,318 千円
 - ・ボード壁張替塗装 2,585 千円
 - ・常盤活性化センター屋根修繕 9,900 千円
 - ・その他工事、消耗品等 19,924 千円
- 【総額（決算） 100,250 千円】

⑧ 飯山市情報センター被害（令和元年度（2019年度）末、復旧完了）

- ・1階部分床、壁
 - ・エレベーター
 - ・電気機器等備品
- 【総額（決算） 10,340 千円】

⑨ 飯山市保健センター被害（令和元年度（2019年度）末、復旧完了）

- ・浸水床上約0.4m
- ・1階床復旧、FF式ストーブ撤去等

総額（決算） 4,021千円】

7 ライフラインの状況

(1) 電気

① 停電

令和元年（2019年）10月13日（日）0:11～8:13 瑞穂地区笹沢区

令和元年（2019年）10月13日（日）5:00～14日（月）8:40 照岡地域

8 道路の状況

(1) 国道（交通規制）

- ・国道117号 伍位野交差点～皿川交差点まで
- ・国道117号 柏尾戸狩停車場線交差点～野沢上境停車場線交差点まで
- ・国道292号 柳原地区「硫黄」地籍～新潟県境まで
- ・国道292号 伍位野交差点～中野市壁田チェーンベースまで
- ・国道403号 市川橋～馬場地籍まで
- ・主要地方道上越飯山線 黄金石交差点先～400mの間
- ・県道箕作飯山線 西大滝スノーシェッド内 他3か所

(2) 市道

- ・市道2-104号 蓮（蓮～替佐）全面通行止め
令和2年（2020年）3月4日解除

9 公共交通機関の状況

(1) JR北陸新幹線

長野駅～上越妙高駅間

令和元年（2019年）10月12日（土）正午頃以降終日運休

令和元年（2019年）10月13日（日）～24日（木）運休

令和元年（2019年）10月25日（金）暫定ダイヤにより全線運行再開

(2) JR飯山線

令和元年（2019年）10月12日（土）

10時頃から順次運転を見合わせ、正午頃以降終日運休

令和元年（2019年）10月13日（日）～25日（金）

運休 不通（替佐～蓮 土砂流入）

令和元年（2019年）10月21日（月）～25日（金）

代行バス運行（通学者用）

令和元年（2019年）10月26日（土）全区間運行再開

(3) バス等その他の公共交通

① 長電バス 全路線

令和元年（2019年）10月13日（日）、14日（月）全面運休

令和元年（2019年）10月15日（火）ほぼ平常運行（一部迂回運行）

令和元年（2019年）10月29日（火）平常運行

② 市コミュニティバス、乗合タクシー

令和元年（2019年）10月13日（日）、14日（月）

終日運休：斑尾線、富倉・大川線、小境線、温井線

10 災害廃棄物の受入れ状況

(1) 浸水により発生したごみ処理

令和元年（2019年）10月14日（月）～22日（火）までに家庭前に出されたごみを収集し、27日（日）まで仮設集積場の旧城南中グラウンドへ搬入

飯山市建設業協会、県、近隣市町村及び災害相互応援協定市等による処理

推計 約 2,300 t 金額 123,832 千円

(2) 仮設集積場からの搬出

処理業者と契約を締結し、令和元年（2019年）11月16日（土）より搬出を開始。家電四品目、不燃物、可燃物の順に搬出し、年度末で完了

11 受援の状況

(1) 自治体からの派遣

期間：令和元年（2019年）10月15日（火）～11月8日（金）

内容：ごみ処理支援、家屋調査、総括支援員等

派遣元	延人数	派遣元	延人数
長野県	6名	長野財務事務所	6名
北信地域振興局	28名	木曽広域連合	8名
木島平村	90名	栄村	37名
野沢温泉村	46名	山ノ内町	84名
十日町市	11名	大北ブロック	112名
飯伊ブロック	115名	安曇野市	45名

山梨市	56名	長井市	47名
魚津市	56名	国分寺市	42名
鳥取県	156名	倉吉市	11名
三重県	12名	石川県	4名
延人数合計			972名

12 災害ボランティアの状況

(1) ボランティアセンター（飯山市社会福祉協議会で実施）

期間 令和元年（2019年）10月15日（火）～27日（日）

ボランティア数 延 1,253名（内飯山市内 353名、長野県内 900名）

派遣希望数 152件（完了 151件、持越し 1件）

13 主な被災者支援

(1) 災害救助法

（令和4年（2022年）8月31日現在）

① 住宅の応急修理

- ・令和2年（2020年）6月30日（火）受付終了
- ・申請件数 119件
- ・修理依頼書 119件、完了 119件
- ・金額 63,543,369円

② 学用品の給与

- ・申請件数 15件、避難所の設置（閉鎖）
- ・生活必需品の給与 対象者 142件 2,190,955円

(2) 上下水道料金の減額

- ・申請数 516件
- ・金額 4,786,470円

(3) CATV料金の減額

- ・対象数 74件
- ・金額 554,850円

(4) 国県の生活再建支援制度

- ① 被災者生活再建支援制度（国）申請件数 39件 支援金額 47,750,000円
- ② 信州被災者生活再建支援制度（県）申請件数 138件 支援金額 63,250,000円

- (5) 義援金（市：一次～三次配分【最終】、県：一次～五次配分【最終】）
・申請受付 538 件 ・金額 135,111,563 円
- (6) 災害援護資金の貸付
・申請受付 4 件 ・金額 6,800,000 円
- (7) 災害見舞金の支給（県 50,000 円、市 50,000 円）
・対象件数 40 件 ・金額 2,000,000 円
- (8) 相談窓口の設置
・総合相談、住宅相談（市役所）
・心配ごと相談会（長野県地方法務局、司法書士会、土地家屋調査士会）
令和元年（2019 年）12 月 22 日（日） 於 飯山市公民館
- (9) 所得に関係のない就学支援
・申請件数 6 件 12 名
・就学援助費支払額 757,473 円
- (10) 事業所等を対象とした特別相談窓口の設置
・令和元年（2019 年）10 月 16 日（水）から
商工会議所に設置（市、商工会議所と合同）
- (11) 国民健康保険、後期高齢者医療の窓口負担の免除
・令和 2 年（2020 年）12 月 31 日（木）まで減免期間を延長
国民健康保険免除証明書発行件数 95 件
後期高齢者医療免除証明書発行件数 122 件
※令和元年（2019 年）10 月 12 日（日）～令和 2 年（2020 年）12 月 31 日（木）
間で、窓口負担があった場合は、支払の翌日から 2 年間還付申請可
- (12) 後期高齢者医療保険料の減免（令和 2 年（2020 年）10 月 31 日受付終了）
・令和元年（2019 年）分 対象者 97 名 減免額 2,907,300 円
・令和 2 年（2020 年）分 対象者 99 名 減免額 2,440,600 円
- (13) 国民年金保険料の免除（申請延人数 8 名）
・令和元年（2019 年）9 月から令和 3 年（2021 年）6 月
（令和元年（2019 年）9 月～令和 2 年（2020 年）6 月、令和 2 年（2020 年）
7 月～令和 3 年（2021 年）6 月の年単位）※2 年 1 ヶ月前まで遡って申請可

(14) 介護保険料の減免

- ・令和元年度（2019年度）分 対象者 196名 減免額 3,564,105円
- ・令和2年度（2020年度）分 対象者 195名 減免額 3,438,750円

(15) 介護保険サービス利用料の免除

- ・令和元年度（2019年度）分 対象者 58名 減免額 4,626,259円
- ・令和2年度（2020年度）分 対象者 61名 減免額 6,322,371円

(16) 各種証明書の手数料の免除

(17) 飯山市生活支援・地域ささえあいセンター運営事業

- ・社会福祉協議会へ業務委託
- ・支援世帯 167世帯
- ・令和4年（2022年）3月31日（木）事業終了

(18) 事業者支援

① 飯山市中小企業再建支援特別事業（飯山市中小企業再建支援補助金）

内容	件数	事業費（千円）	市補助金（千円）
グループ補助金	29	71,445	8,798
持続化補助金	41	76,604	11,918

② 飯山市中小企業融資制度（災害等対策資金）利用者への支援
（1.3%利子補給2年間・保証料全額補助）

月数	件数	金額（千円）
令和元年（2019年）11月～ 令和2年（2020年）3月	32件	132,950

(19) 農業施設支援（農業用機械、ハウスなど）

① 被災農業者支援事業補助金

- ・対象者 22名（39件）
- ・復旧費 11,073千円（交付決定額 9,335千円、市補助 20% 1,867千円）

(20) その他支援

① リ災証明書の発行

- ・令和元年（2019年）10月15日（火）～電話受付、税務課職員他で家屋調査

・令和元年（2019年）11月2日（土）～4日（月）市公民館で交付開始

対象件数（家屋調査結果）

（令和4年（2022年）8月31日現在）

	判定	浸水状況	調査件数	発行件数
床上	全壊	1.8m以上浸水	0件	0件
	大規模半壊	1.0m以上浸水	38件	38件
	半壊	1.0m未満浸水	152件	148件
床下 （非木造の 床上含む）	一部損傷（準半壊）	10%～	25件	20件
	一部損傷（10%未満）		419件	230件
	被害なし		73件	1件
合 計			707件	437件

② 被（ひ）災証明書の発行

内容に応じて各部署で証明書を発行

（令和4年（2022年）8月31日現在）

種 別	発行窓口	件 数
車・家財等	危機管理防災課	225
商店・事業所等	商工観光課	169
農業施設等	農林課	18
合 計		412

③ 市税減免事務状況（経過）

- ・令和2年（2020年）1月14日付 対象者へ申請通知（435件）
- ・令和2年（2020年）2月12日付「半壊」「大規模半壊」未申請対象者へ再通知（53件）
- ・令和2年（2020年）3月12日付「半壊」「大規模半壊」未申請対象者へ再々通知（13件）

令和3年（2021年）3月31日現在

対象税目	対象件数	申請件数	承認件数	減免額
市県民税	92件	89件	85件	2,647,950円
固定資産税	416件	220件	185件	2,381,100円
国民健康保険税	56件	51件	50件	1,943,000円
計	564件	360件	320件	6,972,050円

④ 消石灰配布（殺菌用）

令和元年（2019年）10月14日（月）～16日（水）の間、浸水被害を受けた建物に配布

- ⑤ 市ホームページ・フェイスブック・防災無線・ケーブルテレビによる
情報提供

(21) 課題等に関する主な意見交換会の開催

① 地区等

- ア 飯山地区 浸水被害地域の区長及び区長会長
【北町、有尾、田町、福寿町、本町、肴町、上町、新町、
鉄砲町、奈良沢、栄町、梶町】
令和2年（2020年）2月18日（火） 於 市役所

- イ 飯山地区以外の浸水被害区の区長及び木島・常盤地区区長会長
【秋津地区：上組、中山根、伍位野、大久保、北畑】
【瑞穂地区：関沢、戸那子、中組、富田】
【常盤地区：戸狩】
【太田地区：今井、大深】
【岡山地区：桑名川】
【木島、常盤区長会長】
令和2年（2020年）2月20日（木） 於 市役所

② 災害対策本部

- ア 各対策部、職員向けに課題・反省事項の集約
令和元年（2019年）11月～令和2年（2020年）2月

第2章

令和元年東日本台風（台風第19号）の
被災・復旧状況写真と広報飯山・新聞記事の記録

1、被災状況

(1) 市街地全景



(2) 秋津地区 静間バイパス周辺



(3) JR 飯山駅周辺～上町周辺



(4) 飯山市役所周辺



(5) 飯山市役所内



(6) 飯山地区北町区周辺



(7) 一級河川 皿川



(8) 戸狩野沢温泉駅周辺



(9) 岡山地区 桑名川区周辺



(10) 避難所の状況



(1) 消防団の対応状況



2、復旧状況

(1) 被災地域の復旧









(2) 一級河川 皿川の応急復旧



(3) 企業、応援自治体、ボランティア等による復旧













(4) 災害ゴミ集積場の状況（旧城南中学校グラウンド）







3、広報飯山・新聞記事の記録



2019.11月号

一日でも早く日常を取り戻すために



根拠災害発生時の相互応援協定都市の皆さま
 (上) 山形県長井市から駆け付け、被災ごみ処理現場に向かう姿
 (左) 道路上の羽を洗い流す群馬県十川町の皆さん
 (中) トラックで駆けつけ、災害ごみを早急に搬入する東京都国分寺町の皆さん
 (右) 避難に出された被災ごみを自らのトラックに積み込む山梨県清井町の皆さん

2019.11月号

このたびの台風19号による災害で、被害に遭われた全ての皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

県下到大雨特別警報が発せられる中、飯山市では千曲川の溢水(いっすい)や支川の内水氾濫など、千曲川沿いの各地で浸水被害が発生しました。特に、血川堤防の決壊により市街地の広範囲が浸水、多くの住家、商店、事業所として市役所庁舎などに甚大な被害が生じました。

いまだ多くの皆さまが不安な日々をお過ごしかと存じますが、まず、一刻も早く元の生活を取り戻していただきますよう、住宅支援などの生活再建を進めてまいります。商工業や農業を営む皆さまには、一日も早い事業再開に向け、

経済支援策の充実に、国県とともに務めてまいります。

また、多くの支援が飯山市に寄せられております。全国各地から義援金やふるさと納税、救済物資をいただくとともに、被災直後より、多くのボランティアの皆さまが、被災家財の搬出や堆積上の片づけ等に従事されました。全国各地から義援金やふるさと納税、救済物資が届くとともに、市内外の温浴施設からは、お風呂の無料提供などもありました。

飯山市の防災協定都市や近隣市町村、国県の支援制度などを通じて多くの自治体からは、職員の出遣を受け、災害対応への助言や被害調査、被災家財の回収作業など、さまざまな分野に支援をいただきました。

ました。ここに関係自治体の皆さまに心より御礼申し上げます。

今後は、今回の台風19号被害について、しっかりと分析するとともに課題を検証してまいります。併せて、今回の台風で水川の千曲川はもたらした支川の内水対策の重要性をあらためて強く認識しましたので、河川管理者である国県には抜本的な治水対策を強く求めたいと思います。

一日も早い復旧復興に全力をあげ取り組む所存です。

(飯山市長 足立 正則)



10月31日、血川の抜本的な改修と商店街支援について、足立市長が阿部知事に要望(長野県庁にて)

2019.11月号



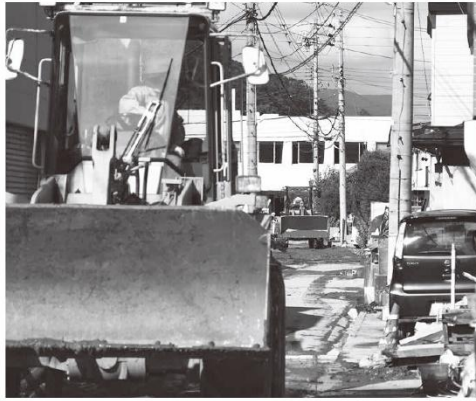
市で購入した排水ポンプ車

水害時の内水排除に万全を期すため、総排水量毎分30立法升の排水ポンプ車を10月7日に配備しました。同日に市長、副市長、議長、担当課等が参列し、安全祈願を行いました。

今回の台風19号での水害では、太田地区の今井川樋門で12日深夜から13日夕方まで出動し、内水排除を行いました。

水害に備え排水ポンプ車を配備

2019.11月号



飯山市建設業協会の皆さま

- (上) 道路に堆積した泥を急ピッチで運び出す2台のタイヤドーザー
- (右上) 水を含んだ重い土をトラックに次々と積み込みむバックホウ
- (右) トラックに積んだタンクの水を使い高圧洗浄機で歩道等の泥を清掃



- (左) 「家の方がやっていたことだから」と被災された方に寄り添い写真一枚一枚乾かすボランティアの方
- (中) 道路の泥を白い布を上げながら全力で取り取る国土交通省北陸地方整備局の清掃車
- (右) 重機とともに鳥取県から駆け付け、小沼堤外の農道に堆積した深さ80cmほどの泥を押しつける術寺谷建材のタイヤドーザー

2019. 11 月号



左から 足立市長、術寺谷建材 寺谷社長

鳥取県から駆け付けた術寺谷建材に感謝状を贈呈

台風第19号災害を受け、飯山市区長会協議会は、災害に伴う早期復旧に関する要望書を11月15日に、足立市長に手渡しました。
内容は、「農地や農業関連施設の災害復旧に伴う地元負担の軽減」と「移動排水車両の増設などの市街地への内水氾濫を防ぐための臨時的措置」について要望がありました。
要望書に対し、足立市長は、「農業関連については、

足立市長が、11月16日に術寺谷建材（鳥取市）に感謝状を手渡しました。
同社は、10月25日から29日の間、4人体制で持参した重機（ホイローダー2台、バックホー1台、2台ダンブリー台）を使い、台風第19号災害により、農道に堆積した土砂の撤去を、木島・常盤地区合わせて約80キロをボランティアで行いました。

同日、同社から飯山市へ災害見舞金をいただきました。同日、同社から飯山市へ災害見舞金をいただきました。

国の補助事業を活用したい。また、要件に合わないものは、できる限り個人の負担がないよう努力をしたい。現在、城山雨水排水ポンプ場の機械設備が故障している。来年の出水期までには修理が完了する予定。有事の際は、国や県にポンプ車両を優先的に配備するよう要望をした。災害の復旧・復興に向け全力で取り組みたい。」と力を込めました。



左から 飯山市区長会協議会 服部敏夫協議会長、高橋英一副協議会長、松木隆一副協議会長

飯山市区長会協議会が台風災害に伴う早期復旧を要望

2019. 12 月号



左から 足立市長、木鋪杏莉（あんり）さん、萩原武隆（たける）さん、下高井農林高校 横澤校長、盛田教諭、木継（きつぎ）教諭

下高井農林高校から義援金をいただきました

11月15日に、下高井農林高校から足立市長に義援金の手渡されました。横澤校長によると、生徒たちが自分たちが何かでできることがないかと生徒たちが考え、今回義援金を送ることにしたといいます。義援金は、2つあり、一つは、「高校生チャレンジ活動支援事業」を活用し、同高校の食文化コース、そば班が11月4日に実施した「のうりん食堂」の売上

金の一部とその時に義援金箱を設置して集めたお金。もう一つは、今回台風第19号により、文化祭が中止となり、打ち上げを予定していた花火の費用について、協賛いただいた団体等の同意を得たものです。足立市長は、義援金を受け取り、「二日も早い復興を目指し、皆さんの温かいご支援を生かさせていただきたい。」と感謝の気持ちを述べました。

2020.12月号

令和2年 年頭のごあいさつ

災害復興に全力をあげる

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては輝かしい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新天皇が即位され令和という新しい時代を迎えましたが、飯山市にとりましては、正に「禍福は糾える縄の如し」を実感した一年でありました。

夏には「雪国から甲子園へ」の合言葉のもと、飯山高校野球部が見事、甲子園初出場を果たしました。甲子園での試合当日、アルプススタンドを真っ白に埋め尽くした大応援団の姿は、今も私の目に焼き付いております。

10月の令和元年台風第19号では、飯山市は大きな被害を受けました。被害に遭われた皆さまに、謹んでお見舞いを申し上げます。市では、11月20日より復興推進本部を設置し、被災者の住宅支援や生活支援を進めてまいりました。本年は、次に重点を置き復興を進めてまいります。

まずは、被災インフラの復旧です。特に、破堤した皿川堤防につきましては、千曲川と同じ高さの堤防となるフルバック方式による抜本的な治水対策の早期着手を、長野県（河川管理者）にお願いしました。

多くの商店や事業所が浸水し、農地も土砂堆積などの被害を受けたことで、経済復興も喫緊の課題です。そのため、商工業や農業に一刻も早く活気が戻りますよう、市の独自施策のほか、国・県の支援制度なども活用しながら、全力で取り組んでまいります。

早期の災害復興を図るとともに、全ての世代が安心・安全に暮らせるまちづくりに、引き続き取り組んでまいりますのでご理解とご協力をお願いいたします。皆さまのご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

飯山市長 **足立正剛**

2020.1月号



木島小学校5年生の皆さんと足立市長、長瀬教育長

「がんばれ飯山市」木島小学校5年生が木島米で義援金

木島小学校5年生29人が、1月9日に市役所を訪れ、飯山市の災害復興に役立ててほしいと、総合学習で育てたコメの売上代金の一部を義援金として、足立市長に手渡しました。お米を育て販売するこの取り組みは、木島小学校が例年行っているもので、販売は、道の駅等で11月に販売しました。当日は、子どもたちが自ら作成した木島米のプロ

モーション映像で、田植え、管理、収穫などについて紹介しました。生徒からは、「地域や保護者の皆さんの協力もあり作ることができました。」と言葉が添えられました。足立市長は、「お米を生産から販売まで行うこの取り組みはすばらしい。また、皆さんの温かい気持ちに感激した。被害に遭った人たちのために役に立てた。」とあいさつしました。

2020.2月号



感謝状贈呈式に出席いただいた市内の皆さま写真左から（名称・氏名・功績概要）
・徳し隊 in 飯山 小林美代子さん、上原直美さん
被災者などを対象とし施術を実施。
・南松原商事 松原佳祐 代表取締役
独自に集めたボランティアとともに災害ごみの分別作業を実施。
・南ゆりかご 宮崎慎也 代表取締役
要介護者への支援に貢献。
・飯山赤十字病院 石坂克彦 院長
医療従事者チームにより避難者救護に貢献。
・飯山市上下水道工事組合 山崎健吾 会長
下水道インフラの維持メンテナンス等に貢献。

令和元年台風第19号に伴う災害ボランティアの皆さま14団体へ感謝状が送られました。12月25日に、市役所で行われた感謝状贈呈式には、市内5団体の皆さまに参加いただき、足立市長から感謝状が手渡されました。足立市長は、「それぞれの御立場から、被災された方々に寄り添った活動を目撃する機会があり、市民を元気づけるとともに、復旧・復興に多大な貢献をいただいた。」と感謝の気持ちを込めあいさつしました。なお、贈呈式に出席いただいた方それぞれから、活動を始めたいきっかけ、当時の様子や、思いなどをあいさついただきました。

災害ボランティアの皆さまへ
感謝状を贈呈

2020.2月号

いと発見!

いいひとはっけん # 159

E(エ)ネルギッシュな
E(イー)ヤマの皆さんを紹介しします

中 津川市では、有害鳥獣対策室でクマ、イノシシ、シカ、サルなどの対策に追われていたという宮川さん。保健福祉課の社

台風第19号災害に伴い、昨年12月から1カ月交代で2月末をめぐり、岐阜県中津川市から職員を派遣いただいています。昨年の12月27日まで、保健福祉課でお手伝いいただいた中津川市の宮川文太さんをご紹介します。



中津川市 **宮川 文太** さん

岐阜県中津川市から昨年12月の1カ月間、災害派遣をいただき、生活再建支援金交付事務をお手伝いいただきました。

2020.1月号

いと発見!

いいひとはっけん # 160

E(エ)ネルギッシュな
E(イー)ヤマの皆さんを紹介しします

中 津川市では、自治会や地縁団体等の事務をしていた大嶋さん。飯山市では、危機管理防災課で、被災された方の台帳の整備にご尽力いただきました。基本台帳の情報を照らし合

台風第19号災害に伴い、昨年12月から1カ月交代で2月末をめぐり、岐阜県中津川市から職員を派遣いただいています。1月にお手伝いいただいた大嶋さんをご紹介します。



中津川市 **大嶋 寛人** さん

岐阜県中津川市から災害派遣として、被災者台帳等の整備に、7月の1カ月間お手伝いいただきました。

2020.2月号

中 津川市は、飯山市とよく似ていると大嶋さん。地形が南北に長いところ。2027年にはリニアが開通となり、東京とのアクセスがよくなることなど。また、中津川市は、栗きんとん発祥の地ということもあり、和菓子屋さんが多いところも似ているといえます。近年、イギリスのテレビ番組で紹介され、落合宿や馬籠宿、中津川宿が観光地として人気だといえます。「飯山の皆さんを応援しています。機会がありましたら、中津川市にお越しください。」とメッセージをいただきました。

わけて、新しい台帳を作成しています。一つ一つ確認が必要なものもあり、ひとまとめにするのが大変と大嶋さん。

いと発見!

いいひとはっけん # 162

E(エ)ネルギッシュな
E(イー)ヤマの皆さんを紹介しします



富山県魚津市(木島地区在住) **山本 憲治** さん

「曇気楼の見える街」魚津から飯山に、「少しでも飯山の復興の手助けになれば。」

山 本さんは、富山県東部消防組合消防本部の消防士で、昨年度から魚津市企画総務部総務課防災係に転任中。令和元年東日本台風災害の復興支援を目的に魚津市の代表として4月1日から飯山市へ派遣職員として勤務いただいています。魚津市とは、平成9年に大規模災害発生時の相互応援協定を締結しており、その後、平成24年に観光交流都市協定を締結しています。

飯 山市では、移住定住推進課に所属し、被災家屋の解体制度について、派遣期間が終わる6月末まで担当していただいている山本さん。飯山へは、令和元年東日本台風災害直後に3日間被災ごみの運搬に駆け付けていただきました。「グラウンドに積まれていく被災ごみの光景が強烈だった。」と当時を振り返ります。今回、飯山市が職員の派遣要請を国とおして行っていることを知り、自ら志願したといえます。山本さんは、「少しでも飯山の復興の手助けになれば思い志願した。」と思いを語ります。

山 本さんの趣味は、自転車。魚津から愛用のマウンテンバイクを持ってきたそうです。「地元からしたら日常と思われているような所から、飯山市の有名な観光スポットまで、大小限らずできるだけ多く自転車周りたい。」と語ります。

2020.4月号

飯山市役所 4階が臨時窓口

1階が浸水被害 市内の温泉施設 無料開放も

飯山市は千曲川支流の皿川
の氾濫で中心部一帯が浸水被害に見舞われた。1階が浸水した市役所は15日、役所4階に市民環境課や保健福祉課、税務課などの臨時窓口を開設。信州いやま観光局（飯山市）と市社会福祉協議会は、それぞれ運営する温泉施設の無料開放を始めた。

飯山市役所1階が浸水被害があった市役所1階では、この日も朝から職員らが泥の撤去や汚れた机の洗浄などの復旧作業に追われた。市によると、週末までに1階での業務再開を目指すという。4階の臨時窓口には、罹災証明書や住民票の発行のため、多くの住民が相談に訪れていた。

信州いやま観光局が21日まで無料開放する同市一山の



飯山市役所4階に設けられた臨時窓口。罹災証明書の発行なども行っている

「いやま湯滝温泉」では初日の14日、床上浸水などで自宅の風呂が使えなくなった被災者計211人が疲れを癒やしに訪れた。被害の大きかった同市福寿町区に住む江口悦子さん（54）は夫と義母、息子と一緒に温泉を利用。「こんな時だけでも、温かいお湯でリラックスできて助かる。無料なのは本当にありがたい」と話していた。

信濃毎日新聞 2019.10.19

許 2407101

住民の意識に深い爪痕

血川決壊 堤防の改良「早めに対応を」



「あの水害を忘れてはいけません」。昨年の台風19号で決壊した血川右岸に位置する飯山市の北町区の区長、石沢清司さん(69)は12日、復旧した堤防を眺めながらつぶやいた。携帯電話のカレンダーには2019年10月13日の日付に、「午前4時5分 水害避難」と記録している。当時、



復旧された血川の決壊現場で被災当時を振り返る石沢さん
 12日午前9時15分、飯山市飯山(中村桂吾撮影)



「この高さまで浸水したんだよ」と、被災した菓子店内の柱に触れる佐藤さん12日午前10時24分、飯山市飯山

副区長として区民に避難を呼び掛けた時刻だ。水害は住民の意識に深い爪痕を残した。今年7月に大雨が降った時にも「区長、大丈夫ですかね」と不安げに尋ねてきた住民がいた。「地域にはお年寄りが多い。心配になる気持ちも分かる。一度水害に遭っているから、どうしたって記憶がよみがえってくる」と石沢さん。血川堤防が約500メートル南にある築約60年の自宅も床上浸水した。決壊した堤防の原形復旧は昨年内には完了。現在は、堤防のかさ上げを目指した改良事業に向けて県が測量・設計に着手している。県北信建設事務所(中野市)は早期の完了を目指すというが、関係機

関との協議や幅の拡張に伴う周辺の土地の調整など課題は山積みだ。石沢さんは「住民が安心できるよう早めに対応してほしい」と望む。ほぼ全世帯が浸水被害に遭った福寿町区にある、創業約120年の和菓子店「大黒屋製菓舗」。店頭には地元産のもち米を使った秋限定の大福が並んでいた。台風19号では床上約90センチの浸水被害に遭って、一時営業をやめた。そのため毎年待ち望んでいる人たちに大福を販売できなかった。店主の佐藤信一さん(78)は「今年は無事味わっていただけでなくできる。良かった」と目を細めた。

(赤池悠
 (おわり))

被災者のニーズに合わせた支援を

飯山市民社会福祉協議会
社協災害ボランティアセンター設置

飯山市民社会福祉協議会は15日、飯山市民社会福祉協議会が多数出たことを受けて市イアセンターを設置し、県内からの災害支援ボランティアの受け入れを始めた。青年会議所、長野県共同募



15日、水害の後片付けに追われる地域住民

金会の協力を得て設置されたもの。

当分の活動期間は21日までとし、飯山市民社会福祉協議会を本部に受け入れ対応、作業に必要な用具の貸し出しを行う。受け入れは1日80人から130人程度で、主な活動は3〜5人1チームによる、床上浸水した家屋などからのゴミ出し作業。活動初日の15日は個人63人、団体8人の71人が34件寄せられた被災者からのニーズに応じてグループに分かれて作業に当たった。水に浸かってしまった家財道具などの運び出しや泥の排除作業などに汗を流し、翌16日は倍以上の約180人が訪れ、事務局がマッチング作業を行い、それぞれの活動場所に向かい。

市社協ではこのほかにも被災者支援として、要介護者を抱え、復旧作業が困難な世帯を対象とした、要介護者のデイサービス受け入れ、湯の入浴温泉の無料開放を21日までの期間でそれぞれ行った。

北信州に暮らす仲間として…

木島平の
小池さん 市民館避難所に白米提供

台風19号水害に伴い設置された飯山市民館避難所に14日、木島平の農家から白米が提供された。米を提供したのは木島平村南嶋の小池雅章さん。小

池さんが耕作する田んぼがある大塚沖も冠水してしまっただけ、幸いにも収穫後であったため大きな被害は免れたという。今回、風さや300kgの白米を市約270kgほどの量を市民館に運搬し、提供した。提供された米は市災害対策本部で炊き出しなどに利用された。小池さんは「飯山でこ

なに大きな被害が出ると思ってもなかった。同じ北信州の仲間として、皆で力を合わせて元に戻していきたい」と話した。



市民館避難所に米を運ぶ小池さん



ボランティアによる災害ゴミの撤出作業

「おこわり」
今週の連載「ふりむいた人」・「風物詩」はお休みします。

北信濃新聞 2019.10.19

秋津・常盤文化祭実行委・瑞穂地区

被災地復興に―と義援金

飯山市民社会福祉協議会、瑞穂地区から1日、市に台風19号災害被災地の復旧・復興に―と、被災地の復旧・復興に向けた義援金が贈られた。写真―と、開催を決めた。

飯山市民社会福祉協議会、小菅の里づくり委員会（望月武委員長）が、そは愛好会の協力を得て主催することとして12回目の「新そばを味わう集い」は3日、同所小菅農業生活改善センターで開かれた。写真―と、

七星庵駐車場南側にほ場を広げ、現在約1200平方メートルの畑でそばを栽培。先月20日にそば刈りを行い、約66kgの収穫を得た。地区住民に加え、日ごろから様々な分野で世話になっている人々を招き、新そばを振る舞った。同日のつどい。そは愛好会の協力を得てそば約100食を打ち、野菜の天ぷらや漬物と一緒に提供した。会場には開店前から住民らが訪れ、談笑を交わしながら、風味豊かな新そばに舌鼓を打った。

以来、同支部長、本会副会長などを歴任。高齢者宅訪問などによる交通安全啓発、寺院での交通安全教室、保育園での交通安全教室の開催など、

県連名表彰（功労者）、交通安全表彰章（功労）、栄誉章（功労）、県知事顕彰（功労）を受章している。



同日、秋津・常盤地区文化祭実行委員会の代表としてそれぞれ区長、公民館長が、瑞穂は公民館長が、足立正則市長に義援金を手渡した。区長会長らは、地区文化祭開催に当たって議論を重ねたこと、文化祭を通して被災地に支援の住民パワーを届けたい―と開催を決めたことなど、義援金に込めた思いを伝えた。

足立市長は「市街地を中心とする被害は相当なものになる。昨日阿部県知事から、皿川堤防の安全対策を進めることの考えをうかがった。国の激甚災害指定の話もある。被災地ではボランティアの力を借りて、復旧金はないが、有効に活用させていただく」と、礼を述べた。

北信濃新聞 2019.11.9



「自分たちに出来ることで支援していきたい」と話す寺谷会長

千曲川堤外地の堆積泥の撤去

先月発生した台風19号による千曲川の増水で、飯山市内の堤外地には大量の泥が残り、農作物を中心に大きな被害が出た。農地の復旧にも影響を与えている。この泥を撤去するため、鳥取県の(有)寺谷建材(鳥取市)が重機を運んで駆けつけ、先月24日から30日まで作業を行った。同社は鳥取県機関と連携し、全国各地に出向いて災害復旧のためのボランティア活動を行っている。今回、会長と社長を始めとしたオペレーターらが、重機による泥の撤去を行った。

先月27日には常盤小沼で活動を展開。同所の千曲川堤外には最深で50〜60センチの泥が堆積し、畑に近づくと困難な状況。農道の泥を撤去し、軽トラックが走れる状態までの復旧を目指す。同所の主要作物であるゴボウや長芋が収穫できる可能性が残り、農家の期待が寄せられる。

同日作業を見守った鈴木寿小沼区副会長は「ひんぱんに冠水する土地柄だが、ここまでの泥の堆積は経験がない」と言い、「行政などによる支援の手が回りきつ

ますが、皆さん、健康に気をつけ、市民の皆さんのためにがんばって下さい。長い間お世話になりました」とあいさつした。

市介護保険課の芳賀光久課長はこのほどの災害に心よりお見舞い申し上げました。ご指導を受け家屋の被害調査をさせていただきました。復旧には長いかかると思い、

「は、それぞれ仕事があるにせよ。復旧を迅速に進めたい」と、感謝の言葉を述べた。

市町村職員の方々に、心から感謝いたします。皆さんに感謝いたします。皆さんに感謝いたします。皆さんに感謝いたします。

道るべ

安住の地であるために

19号台風による豪雨で飯山市街地などで浸水が広範囲に及び、大きな被害が出た。先週半ば、決壊した皿川堤防を対岸から見た。堤防の態を成しているように見えた。当面でも安全は確保されていると信じている。以前にも書いたが、災害に襲われていたが、被害がより軽微だったことを「何よりだった」と言っている。以前にも書いたが、災害に襲われていたが、被害がより軽微だったことを「何よりだった」と言っている。

たことから、消防団員が独自の判断で、早鐘を乱打して危険を知らせた。そして、同時に市に住民避難を促すよう要請。周辺住民に避難を呼びかけ、浸水した一軒で開いた。その夜、自宅に就寝中、足下、背中、異様な冷たさに目覚めた。水だった。外を見たら川がえす2階へ上がったという、ひとり暮らしの男性の話。消防団員の通報後すぐに避難勧告が出された。それが遅過ぎた。知らなかったという声を多く聞いた。以前にも書いたが、災害に襲われていたが、被害がより軽微だったことを「何よりだった」と言っている。

ていない状況での支援はありがたい」と話した。今回の泥の撤去作業では比較的泥の堆積が少量だったエリアが対象範囲外となることから、区としても独自の支援を考えていきたいとしている。



増水した千曲川の漂着ゴミ拾って 飯山市駅伝大会に出場予定だった木島チーム

これは台風19号増水で、止となった飯山市駅伝大会に出場予定だった木島地区の選手、コーチなど関係者が、練習場所ともなっていた木島側の堤防で10日、流れている漂着物のゴミ拾いを行い、地域の美化活動にひと役買った。

同日は駅伝大会の慰労会が計画されており、その前に練習でお世話になってきた日ごろ地域を守ってくれている堤防の清掃美化活動を行うと実施されたもので、防災拠点ヘリポート

これは台風19号増水で、止となった飯山市駅伝大会に出場予定だった木島地区の選手、コーチなど関係者が、練習場所ともなっていた木島側の堤防で10日、流れている漂着物のゴミ拾いを行い、地域の美化活動にひと役買った。

同日は駅伝大会の慰労会が計画されており、その前に練習でお世話になってきた日ごろ地域を守ってくれている堤防の清掃美化活動を行うと実施されたもので、防災拠点ヘリポート



台風禍で被災した仲間へエール

稲刈り・交流試合で今季に幕

ことし5月、常盤小学校近くのひびつ農園で、開校式を兼ねて野菜の収穫と交流試合が行われ、スタートした。夢丸農業小

丸農業小学校だが、これは収穫祭直前に19号台風により、仲間飯山小フットボールが、市街地を襲った大雨による内水の氾濫で、練習会場やボールなどを失う事態に見舞われた。そこで、復旧に向けてがんばっている仲間を励ましたい、と、急ぎよ参加チームと協力と呼びかけ、義援金活動と取り組み、同日、フットボールの保護者会長に手渡した。農園ではこの日、5月に植え付け、播種し、草取りなどして管理してきたカボチャ、サツマイモ、ジャガイモ、エタマメなどを収穫し写真し、気象による大きな被害もなく、いずれもますますの出来栄で、

一部は飯山えびす講で販売し、活動資金に充てる。夢丸農業小学校からは今夏、甲子園初出場を果たした飯山高校野球部員を輩出した飯山、木島平村と栄、野沢温泉、東、常盤小の連合チームが、先輩の後に続いて、とばかりに、白熱した試合を展開した。

令和1年夏季大会総合成績(飯山市ゲートボール連盟) 6月5日・10月23日

①SGC(関谷・丸山・久保田・佐藤久・佐藤勝)②大倉崎(丸山・小坂・鈴木・滝澤)③丸山・丸山(武田園田武田光北川中島・高柳登・高柳輝)

対応経過などまとめ公表

台風19号関連災害への対応
ボランティア1253人、
自治体派遣支援846人

飯山市は28日、台風19号による災害について、同日現在の経過報告をまとめ、公表した。

新たな情報としては、自治体からの派遣が10月15日から28日までの14日間で延べ846人となったことがわかった。近隣では木島平村が91人、山ノ内町が82人と多く、協定を締結している県外の市町村や鳥取県、三重県など遠方からの支援もあった。

ボランティアについては、15日から27日までの13日間で延べ1253人（市内353人、市外900人）に達し、派遣希望152件に対し、151件が完了した。

罹災証明書については、対象家屋の調査を実施中で、割程度を終えた27日現在、579件が対象になる可能性があるとしている。内訳は▽床上・全壊（1・8以上浸水）0件▽床上・大規模半壊（1以上浸水）34件▽床上・半壊（1以上浸水）129件▽床下・一部損傷（準半壊・10%）13件▽床下・一部損傷（10%未満）313件▽床下・被害なし90件。

市は皿川の氾濫と避難勧告の対応等を聞き取りもふまえて時系列にまとめた資料を作成した。内容は25日現在のもの、今後の聞き取り等により、内容が変更される場合もあるとしている。

台風19号による河川の状況

日	時刻	事象
12日	20:45	特別警報発令（浸水害）される。
	20:45	木島、常盤地区に避難勧告
	21:00	皿川樋門の管理を委託されている操作員が、警戒開始。
	23:30	千曲川河川事務所から千曲川の上流域で多量の降雨。千曲川水位上昇の恐れとの連絡あり。
13日	1:30	千曲川河川事務所より、操作員へ皿川樋門を閉め退避するよう命令。（立ヶ花水位 計画高水位超え）
	1:45	操作員、2つのゲートの閉操作完了。
	1:50	城山雨水排水ポンプ場 3基にて稼働開始。 2時以降から飯山水位観測所の水位が、9mを超える。
	2:20	皿川の左岸（前沢建設前のみ）からあふれたとの連絡あり。当初、左岸のみ越水であった。
	2:30	大深（一部）に避難勧告
	2:30頃	皿川右岸のJR鉄橋の上下流から越水（後日の聞き取り）。右岸も越水を始めた。
	2:45	岳北消防員より、皿川の水門逆流冠水しているとの報告あり。
	2:50	上組（一部）、中山根（一部）、伍位野（一部）に避難勧告
	3:15	千曲川河川事務所より「立ヶ花で12mを超える水位となり、越水が各所で発生している。これからピークが飯山へ向かうので、飯山市でも最高水位に備えるよう」連絡が入る。
	3:20	北町に避難勧告
	3:30	皿川へ排水ポンプ車の配備を千曲川河川事務所へ要請。千曲川本線上流部の氾濫情報収集。
	3:50～	岳北消防が、皿川左岸の1件と右岸の1件で救出活動
	4:20頃	◎皿川 4時15分頃 左岸堤内地の水位が低下、右岸堤内地の水位が上昇したため、この時に、決壊したと思われる。（但し、13日の当日は、越水が決壊か不明であった）
	4:00	有尾区の一部（皿川沿い一部）に避難勧告
	4:00	大久保（バイパス沿い一部）に避難指示
	4:50	田町区に避難勧告
	5:00頃	皿川の越水箇所への土嚢積みを示す。
	5:30	関沢（一部）、戸那子、中組（一部）、富田（一部）、桑名川（一部）に避難勧告
	5:30	皿川で千曲川河川事務所の排水ポンプ車1台が稼働。
	5:40	城山雨水排水ポンプ場のポンプ室内に浸水が始まるが、土嚢等で防止。 城山雨水排水ポンプ場3台フル稼働等しており、市街地の内水対策は、機能していた。
6:00	北信建設事務所 皿川越水状況調査で、越水が多く応急工事ができないと判断し、その後、市に連絡あり。	
6:40	福寿町、本町、肴町、上町、新町、鉄砲町、奈良沢、柴町、県町、北畑に避難勧告	
7:00	千曲川 飯山観測所で過去最高水位11.10mを記録。（S58年10.09m）	
7:00	城山雨水排水ポンプ場が、浸水によりポンプ3台が機能停止に陥った。	
9:45以降	排水ポンプ車 国、県、市、計6台により市街地の排水の継続。 （飯山高校グラウンド付近、城山雨水排水ポンプ場付近）	

※令和元年10月25日（金）現在聞き取りも含めた調査
今後の聞き取り等により、変更もあり

北信口ーカル 2019.11.1

災害復旧等で県に要望書

飯山市の足立正則市長と飯山商工会議所の伊東博幸会長、石田克男飯山市議会副議長、宮本衛司県議の4人は31日、県庁に阿部守一知事を訪ね、台風19号に伴う要望書を提出した。

要望書は2通あり、飯山市と飯山商工会議所連名による要望書は、商店街と事業者の復興に向けた支援を要望するもので、要望内容は▽浸水被害により店舗改修・設備更新等が必要とする事業者への財政的支援▽被災した事業者が融資を受ける際の利子及び保証料の負担軽減の支援▽商店街の魅力向上による再建支援（ハード・ソフト）。

もう一通は、市による要望で、要望内容は▽皿川堤防決壊部分の早期復旧▽皿

飯山市と商工会議所



阿部知事に要望書を手渡す。右から足立市長、伊東会長

北信口ーカル 2019.11.8

県議会が被災地の飯山を視察

被災13社が復旧途上

3社は
廃業予定

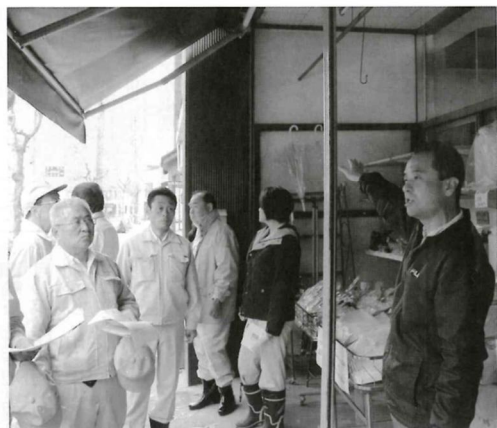
県議会の議長、副議長、各会派代表で構成する災害対策連絡本部員と常任委員会委員長12人は25日、台風19号で被災した飯山市の皿川堤防決壊箇所と商店街の2店舗を視察した。



県議会が皿川決壊箇所を視察

飯山市の皿川堤では北信建設事務所丸山進所長が皿川堤決壊に至る状況、復旧工事に関わった同事務所の対応、今後は内水災害のための測量実施、監視カメラや危機管理型水位計の設置、抜本的な対策の検討、関係機関の情報共有・伝達の強化などを進めることを説明した。

商店街視察では飯山商工会議所の伊東博幸会長とともに浸水した2店舗を視察。小売店の島田義雄商店では、島田一彦社長（52）が46号浸水した当時の様子を説明したほか、台風19号で被災した事業者への支援策「中小企業等グループ補助金」の11月13日時点の要項では建物設備のみが対象となっていて什器や商品、資材が対象外なことについて、補助金受給対象の拡大を訴えた。また移転開業後



島田社長(右)が水害時の店舗の様子を説明

1年10カ月で浸水被害に遭った飲食店のバル・エンド（松田剛志オーナー）では浸水が床70センチ達し、調理器具が故障、小上がり席が使用できなくなった。現在はカウンター内の壁や床を防水加工を施すなど復旧工事を進めている「年内再開を目指している」と切実な状況を語った。

県議会の清沢英男議長は視察を終えて「視察内容を踏まえて12月定例会に取り組み、いつも通りの日常を早く取り戻せるようにしたい」。飯山市・下水内郡区選出の宮本衛司県議は「地元の被災された皆さんの意

飯山市商工会議所管内の被災状況の件数と被害額は商業・サービス（医療含む）は149事業所が被災して約6.5億円、製造（きのこ含む）と建設では9事業所が被災して約3億円。22日現在で営業できていない事業所は商業・サービスでは13社が再開に向けて準備中、3社が廃業（一部部門廃止含む）予定、1社が他地域への移転を検討、1社が未定。製造では1社が再開に向けて準備中となっている。

北信口ーカル 2019.11.28

市の対応めぐり討論 避難勧告の基準をどうとらえるか

飯山市内の千曲川では 決壊・越水はなかったがー

台風19号豪雨災害当日（2019年10月13日）の状況

	千曲川の水位		水位・被害の状況	避難勧告・指示発令地区
	飯山	立ヶ花		
午前2時	8.86m	12.10m	皿川の左岸で越水の連絡あり、その後右岸から越水(後日聞き取り、2:30頃)小布施町山王島地区で越水(2:58)	太田大深の一部(2:30) 秋津連地籍の一部(2:50)
午前3時	9.58m	12.43m	飯山水位観測所の水位が避難勧告の判断基準(9.4m)を超過 中野市立ヶ花と栗林で越水(3:25)	飯山北町(3:20)
午前4時	10.20m	12.44m	飯山水位観測所の水位が避難指示(緊急)の判断基準(10m)を超過	飯山有尾・秋津大久保の一部(4:00) 飯山田町(4:50)
午前5時	10.70m	12.10m	城山雨水排水ポンプ場のポンプ室で浸水始まる(5:40)	瑞穂地区と岡山桑名川の一部(5:30)
午前6時	10.98m	11.49m	北信建設事務所が皿川の状況調査で越水が多く応急工事できないと判断	飯山地区の市街地など(6:40)
午前7時	11.10m	10.84m	城山雨水排水ポンプ場が浸水し、ポンプ3台が機能停止	

飯山市の足立正則市長は6日、昨年10月の台風19号豪雨災害にかかる避難勧告等について、関係するマニュアルに記載された発令基準の1つである千曲川の飯山水位観測所の水位が13日午前3時には飯山地区の市街地に避難勧告を発令する判断基準に達しているが、実際には市街地の避難勧告が早朝になった理由について「わたしは責任を持って総合的に判断した」と述べた。市会3月定例会の「一般質問で松本淳一氏の質問に答えたもので、松本氏は「市民の安全を第一とするならば、そのやり方は間違っている」と語気を強めるやりとりがあった。

市が昨年6月に改訂した「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」では、千曲川越水氾濫について、想定外の事象が発生する可能性を加味しつつ、関係機関と連携し、特に千曲川上流の状況及び水位に留意するとともに、今後の降雨量の予想等に関し、総合的かつ広域的な情報収集に努めて避難情報等を発令するとし、避難勧告と避難指示(緊急)の判断基準には飯山水位観測所の水位、千曲川河川事務所と長野地方気象台が発表する千曲川洪水予報など5項目を挙げている。

飯山水位観測所の水位による判断については▽避難準備・高齢者等避難開始は水位が9.0m(避難判断水位)に達し、さらに上流の水位観測所の状況から水位上昇が予想される場合▽避難勧告は水位が9.4m(氾濫危険水位)に達し、さらに上流の水位観測所の状況から水位上昇が予想される場合▽避難指示(緊急)は水位が10.0mに達し、さらに上流の水位観測所の状況から水位上昇が予想される場合とそれぞれ示されている。

千曲川の破壊・越水氾濫で避難すべき区域は、木鳥地区と常盤地区の全域のほか、飯山地区は眞町、新町、上町、栄町、鉄砲町、本町、奈良沢、肴町、福寿町、田町、北町、愛宕町、神明町、有尾、南新町、市ノ口、秋津地区は上組、中山根、伍位野、北畑、大久保、中町北部、瑞穂地区は戸那子、中組、関沢、柏尾、富田、北原、外様地区は尾崎、顔戸、太田地区は大深、今井(川西)、岡山地区は上境、下境、桑名川、藤沢、西大滝が対象地区に指定されている。

内水氾濫等についての避難勧告の判断基準は安全のため、早い避難を促す場合とされ、飯山地区、秋津地区、木鳥地区、瑞穂地区、常盤地区、太田地区、岡山地区の樋門・種管管理区域が対象地区になっている。

昨年10月13日の飯山水位観測所の水位については、午前3時に避難勧告発令基準の水位(9.4m)を上回る9.58mに達し、1時間後の午前4時には避難指示発令基準の水位(10.0m)を上回る10.20mに達した。その後水位は上昇し、午前7時には11.10mに達した。

市は昨年10月12日午後8時45分に木鳥地区と常盤地区に避難勧告を発令し、翌13日午前2時30分には大深(一部)、午前2時50分に秋津の上組(一部)、中山根(一部)、伍位野(一部)に避難勧告を発令したが、飯山地区への避難勧告・避難指示については北町が午前3時20分、有尾

の皿川沿いが午前4時、田町が午前4時50分、福寿町と本町、肴町、上町、新町、鉄砲町などは午前6時40分となった。

松本氏は飯山水位観測所の水位が避難勧告の判断基準を超えた時点で避難勧告が発令されなかった点を問題視。市側は「千曲川上流の水位、河川事務所や気象台の情報をもとに総合的に判断することになっている」と説明。足立市長は「マニュアルについて当然確認している」とし、さまざまな情報をもとに「千曲川の水位は」堤防の高さ、まじかす、決壊を免れるので避難勧告を出さないと判断した」と答弁。判断については市長に責任があり、わたしが責任を持って判断した」と述べた。

記者 雑感

避難勧告等の発令に関する判断基準について、マニュアルに記載された飯山水位観測所の水位はあくまで判断基準の1つであり、結果的に市内では千曲川の堤防は決壊せず、越水もなかった。しかし、千曲川の増水によって支流の皿川では水が行き場を失って、堤防が決壊。市街地では広い範囲で浸水被害が発生した。市は当初、城山雨水排水ポンプ場の稼働によって排水できると考えていたとしているが、皿川に流入してくる雨水は同ポンプ場の計画区域外であり、結果的にはポンプが浸水して機能停止に陥った。

千曲川の越水氾濫による避難はしなくても良かったかもしれないが、支流の皿川が決壊したため、結果的に市街地は浸水。被害に遭った市民からは避難勧告がもっと早く出されていればという声もあっただけに、今回の市長の発言を市民はどう受け止めるのか。

市は4月末を境に台風19号豪雨災害に関する検証をまとめるとしている。足立市長は昨年11月の記者会見で、避難勧告が遅れた理由について「千曲川支流の増水については、避難勧告の基準のようなものがなく、どのタイミングで(避難勧告を)出すというのが、わかりにくかった」とし、今後は「事前の体制、基準作りが必要」との認識を示している。検証を通して災害による被害を最小限に抑えられる地域づくりが進むことを期待したい。(宮崎正行)

その他市民の方から寄せられた関連記事及び調査文献の紹介

- 信濃毎日新聞（信濃毎日新聞データベース：市立飯山図書館閲覧可）
令和元年(2019年)11月12日(火)朝刊「監視のあり方見直し必要」

令和元年(2020年)4月14日(火)夕刊「県内初の災害関連死認定」

- 朝日新聞デジタル（Web 有料記事参照）
令和元年(2019年)10月20日(日)「浸水後に避難勧告 氾濫把握3時間後
長野・飯山 台風19号」

令和元年(2019年)10月21日(月)「基準がない 避難勧告遅れた飯山市
支流氾濫は想定外」

- 中日新聞（Web 防災ニュース参照）
令和元年(2019年)12月2日(日)「水門の閉鎖 国伝えず」

- 産経新聞（Web 産経ニュース参照）
令和元年(2019年)10月21日(月)「長野・飯山の商店街、
「再開のめど立たない」浸水被害で廃業も」

- 長野県飯山市における 2019 年台風 19 号水害について（Web 参照）
長野県飯山高等学校自然科学部
浅野奏多、金子徹、上野幹太、丸山暖太、山本陽輝、立岩憲明

第3章

令和元年東日本台風（台風第19号）

災害における課題と対応策

令和元年東日本台風（台風第19号）
災害における課題と対応策

令和2年8月18日

飯 山 市

目次

1	情報収集	
(1)	迅速で正確な情報の収集と共有	1
2	情報発信	
(1)	的確な判断と速やかな情報の発信	2
3	避難対策	
(1)	避難先の確保	2
(2)	食事の提供	4
4	被災者支援	
(1)	災害ごみの撤去等の復旧情報等の周知	4
(2)	り災証明や支援制度等の周知	4
(3)	災害時要援護者対応（訪問相談）	5
5	復旧・復興	
(1)	下水道施設の被害調査、緊急措置及び仮復旧	5
(2)	農地の復旧	6
(3)	市内事業者の支援	6
6	平常時の備え	
(1)	ハザードマップの見直し等	6
(2)	自主防災組織の活動	7
(3)	協定団体、協定都市等との連携	7
7	市の体制	
(1)	人員確保と情報共有	7
(2)	排水ポンプ車の稼働体制	8
(3)	現場パトロール体制	8
(4)	公用車の退避	8

はじめに

令和元年10月12日に日本列島に上陸した台風第19号は、東日本から東北地方を中心に広い範囲で観測史上最大となる大雨を降らせ、各地に甚大な被害をもたらした。

長野県においては、初の大雨特別警報が発表され、東北信を中心に河川の氾濫、土砂災害などの被害が相次いだ。

千曲川の水位は、立ヶ花水位観測所で10月13日午前3時20分に12.46m、飯山水位観測所で13日午前7時に11.10mに達し、それぞれ過去最高となる水位を記録した。

こうした状況の中、13日未明に千曲川の支川である皿川（一級河川）が氾濫し、飯山市街地が浸水したほか、千曲川沿いの一部地域でも氾濫被害が発生し、飯山市内で浸水した家屋は629戸に上った。

この令和元年東日本台風（台風第19号）災害では、市街地等の浸水に加え市役所も被災するという大きな災害であり、その対応に関し様々な課題が見つかった。このため飯山市では、この災害を教訓とすべく、区長との災害対応についての意見交換会を実施し、また職員からも反省事項等を提出させ、これらを踏まえて、今後災害時においては、市民の安全を第一として、今まで以上に的確かつ迅速な対応ができるよう、以下のとおり課題と対応策を取りまとめた。

なお、対応策の中には、既に見直しを行ったもののほか、今後他機関と調整を図るもの並びに多額な予算が必要なもの等も含まれている。

～課題と対応策～

1 情報収集

(1) 迅速で正確な情報の収集と共有

課題：

- ① 災害が発生している中、市民からの電話が多く、対応する職員数の不足及び電話の回線数の不足によりつながりにくい状況となった。
- ② 情報収集にあたり、市民、現場対応職員、消防団、国、県からの情報及び気象や支川の水位などを集約する体制の充実が必要である。
- ③ 樋門ゲートの開閉、河川水位（千曲川、支川）の情報の共有化（国、県、市）が必要である。

対応策：

- ① 市役所の電話回線について、ダイヤルイン（直通）方式への移行を図り、各対策部とつながりやすくする。

区長と市の間における情報交換のためのホットラインを検討する。

- ② 正確な情報収集及び集約を行うため、情報収集班の職員配備体制を整えるとともに、対策本部に河川情報等を確認できるモニターを設置する。
また、消防団から随時巡視状況等の報告を収集し、対策本部に報告する。
- ③ 対策本部は、国、県からの情報やweb情報により、各対策部等へ情報伝達し、災害対応に活かす。

2 情報発信

(1) 的確な判断と速やかな情報の発信

課題：

- ① 勧告等の情報を早めに、また、きめ細かく発信が求められている。(水位情報ではなく地区内の小河川や道路の規制の状況など)
- ② 情報提供は防災無線だけでは不足する。
- ③ 避難所に情報が入ってこなかった。

対応策：

- ① 情報収集班で取りまとめた情報に基づき、対策本部で的確に判断し、情報発信班から速やかに情報発信できる体制を整備する。本部の設置場所についても現在の各フロアごとから4階委員会室に集約し、雨量、流水量、現場映像等を本部においてモニターできるように取り組むなど、情報収集・指示伝達が同一会場の中で行える形として、避難勧告・指示等を迅速に発令していく。
- ② 情報発信に当たっては、防災無線の戸別受信機のほか、新防災行政無線の屋外拡声子局(外部スピーカー)、市のホームページ、SNS、エリアメール・緊急速報メール、iネットの文字放送等も活用して多面的に情報を発信する。
また、状況に応じて広報車等を活用する。
- ③ 避難所に防災無線の設置を行い、随時情報が届くようにする。
また、避難所対応職員により、本部会議の決定事項等の情報も伝達できる体制をとる。

3 避難対策

(1) 避難先の確保

課題：

- ① 今回の災害では、全体で千人を超える避難者に対応したが、避難所を数多く開設するには、職員数が充分ではなかった。

- ② 自動車で避難する人が多い中で、駐車場の案内や高齢者・障害者の方への対応等が十分に出来なかった。

城南中学校体育館は2階にあり、トイレ等が1階にあることから、要支援者・高齢者には不便であった。

- ③ 避難者受付で名簿記入に待ち時間が発生し混乱した。
④ 避難施設の中学校体育館等は、床が板張りであることから、下敷きが必要だった。毛布などの避難所用品の不足があった。
また、避難所用品の配布に人手と時間がかかった。

対応策：

- ① 洪水時の指定避難所として、駐車場の確保ができる場所を選定し、避難者を集約することで避難所対応職員の集中化を図る。

洪水時の指定避難所として、

「城南中学校」（秋津・飯山・木島地区の一部）

「秋津小学校」（秋津地区の一部）

「木島平村中学校」（木島地区の一部）

「東小学校」（瑞穂地区の一部）

「市民体育館」（外様・常盤・飯山地区の一部）

「トピアホール」（太田・常盤・岡山地区の一部）

「岡山地区活性化センター」（岡山地区の一部）の7カ所に集約する。

ただし、指定避難所のほか、一部の区で設けている「一時避難場所」については、各区の判断により開設する。

また、避難所において新型コロナウイルス等感染症対策の3密（密閉、密集、密接）を避けるために、親戚や知人宅への避難や、自家用車等での車中避難を促すとともに、指定避難所では検温、手指消毒、マスク着用を徹底するほか、パーティションの設置などの対策を講じる。

なお、車中避難の際は、エコノミークラス症候群についてチラシなどで注意喚起する。

- ② 中学校は、体育館が2階のため、体育館のトイレ等の整備が必要となる。（冷暖房やエレベーターも検討する必要がある。）

状況に応じて、仮設トイレや避難物資等を配備し、最低2日間を乗り切る体制づくりをする。

要支援者・高齢者については、トイレのある教室棟、または1階の部屋を利用する。

また、福祉避難所の設置について検討する。

- ③ 受付簿を戸別の個票として待ち時間を短縮し、また個票を区ごとに整理して避難者の確認をしやすくする。

自主防災組織（区）の方にも協力を募り、受付業務をスムーズに行えるようにする。

- ④ 避難所用品・物資については、指定避難所に集約する。
（指定避難所から他の避難所へと配布することを考える。）

(2) 食事の提供

課題：

- ① 今回、真夜中の避難勧告発令であったため、朝の食事については日赤奉仕団に連絡せず職員で対応して提供をした。
その後は県の支援による食事の提供で対応をした。

対応策：

- ① 1日目は避難所情報を正確に共有し、日赤奉仕団等に対応を依頼する。
2日目以降は支援物資を活用することとするが、飲食物の提供について事業者と協定を締結することも進めていく。

4 被災者支援

(1) 災害ごみの撤去等の復旧情報等の周知

課題：

- ① 災害ごみや泥の撤去作業などの情報が、屋外での作業中に伝わらなかったことがあった。

対応策：

- ① 屋内の防災無線だけではなく、屋外拡声子局やメール、広報車等も活用して情報を伝達する。

(2) り災証明や支援制度等の周知

課題：

- ① 水道料金の減免やり災証明の発行等支援制度について、すべてを把握して手続きをするのが難しい。
- ② 市民からの要望・意見等を聞く相談窓口の設置が必要である。

対応策：

- ① 情報を取りまとめた支援ガイドブックを作成して活用し、被災者に該当する制度を案内する。

- ② 様々な相談、要望を受け付ける、総合相談窓口を設置し、市民への周知徹底を図る。

(3) 災害時要援護者対応（訪問相談）

課題：

- ① 被災したと思われる避難行動要支援者世帯及び高齢者世帯全て（約 150 世帯）の訪問活動を災害発生 5 日以内に実施することができた。保健師、看護師、社会福祉士、ケースワーカーなどの専門職が 2 人一組となって訪問した。

被災した方への訪問活動は定期的に行いたいが、他の災害対応業務等が多忙で行うことができなかった。

被災者の状況は時間により変化するため定期的に訪問できる体制が必要である。

対応策：

- ① 被災後の安否状況確認は、福祉事業所と連携して実施できるよう体制をつくる。
「生活支援・地域ささえあいセンター」（今回の災害時には令和 2 年 1 月に開設）を災害後速やかに開設し、訪問活動を行う。

5 復旧・復興

(1) 下水道施設の被害調査、緊急措置及び仮復旧

課題：

- ① 水没し汚水の圧送ができなくなった 8 施設の応急復旧では、日頃から当該電気設備の保守管理に携わり熟知している業者の協力を得て、早期に仮運転まで復旧した。また、仮運転に至るまでの間、市内清掃業者のバキュームカーによる汚水移送の対応により、周辺環境の汚濁をくい止めた。

災害時におけるライフラインの復旧にあたり、工事業者への協力要請についてルールを作る必要がある。

対応策：

- ① 災害復旧作業において、平常時に下水道施設の保守管理を行っている業者や、下水道及び電気設備業者の協力は不可欠である。災害時の協力体制について相談し、復旧作業に係る支援の内容、有償無償の区別などのルールを明確にし、協定の締結も検討する。

(2) 農地の復旧

課題：

- ① 農地の堆積土等（稲わらを含む）の撤去について、地区要望を優先し、「協働の堤外農道土砂撤去事業及び飯山市農業施設堆積物対策事業」の支援制度の周知を区長会、JA、農業団体、ホームページ等を通じて行ったが、一部の被災された農業者まで十分に理解されない場合があった。

対応策：

- ① 被災された農業者が、災害復旧事業の進め方がわかるフロー図をホームページに掲載し周知を図る。
また、フロー図を市報折り込みで各農業者に配布し、区長会において災害復旧事業の進め方を徹底する。

(3) 市内事業者の経済再建

課題：

- ① 被災した市内事業者に対し、商工会議所と連携した窓口を設置し、国・県の補助制度の活用、市の上乗せ補助支援等を行っているが、事業再開に支障が出ないよう努めるとともに、事業再開後の経営安定に向けての継続的な支援が必要である。

対応策：

- ① 被災した事業者の再建、経営の安定化を図るため、事業者の状況の把握に努め、商工会議所と連携をするなかで、継続的な支援を行っていく。

6 平常時の備え

(1) ハザードマップの見直し等

課題：

- ① 災害対応について、水害に特化した行動計画が必要である。
- ② 支川の浸水想定区域を記載した洪水ハザードマップの見直しが必要である。

対応策：

- ① 水防計画書を策定するとともに、今回の災害で課題となった点について職員災害対策マニュアルの見直しを行う。
- ② 支川の浸水想定区域については、県の作成ができ次第ハザードマップに記載する。
なお、避難所については、見直しに基づきハザードマップを修正する。

(2) 自主防災組織の活動

課題：

- ① 共助の中心となる自主防災組織との連携を深めた防災訓練が必要。
- ② 自らが暮らす区域内的の危険箇所・避難所等を知り、避難行動の参考とする必要がある。

対応策：

- ① 樋門の管理等が適切に行われ、災害時に本部との連絡が円滑にできるよう、自主防災組織（区）に対し、消防団と協力した水防訓練への参加を促す。
また、自主防災組織（区）内においても防災訓練を実施するよう呼びかける。
- ② 現在のハザードマップと住民支えあいマップ等を集約した、地区防災マップを作成するための支援を行う。
自主防災組織（区）においては、避難行動要支援者の避難体制等について検討していただく。

(3) 協定団体、協定都市等との連携

課題：

- ① 建設業協会等の協定締結団体、近隣市町村、災害時応援協定締結市等の協力があり、災害ごみ処理や被災家屋調査等について迅速に対応することができた。
今後も協定団体、協定都市等からの応援体制が不可欠である。

対応策：

- ① 平常時から協定団体等との相互連携が深まる交流を継続していく。

7 市の体制

(1) 人員確保と情報共有

課題：

- ① 職員数の不足により、各対策部での必要人員の確保に苦慮した。
- ② 災害対策本部の情報共有の円滑化が必要である。

対応策：

- ① 本年度から制度化された会計年度任用職員を災害対応に当てることで人員を増強する。
また、避難所の受付や運営等については、自主防災組織（区）の協力を仰ぐ。
- ② 災害対策本部において共有された事項、また決定された事項について、情報配信メール等を活用し情報共有する。

(2) 排水ポンプ車の稼働体制

課題：

- ① 排水ポンプ車を配備してから、撤収までに操作員は、5～6人が必要であるが、他の災害箇所対応において操作員の業者に招集がかかり、排水現場は市職員1人での対応となった。

対応策：

- ① 排水ポンプ車を稼働させるため、維持係直営作業員による直営体制とする。

(3) 現場パトロール体制

課題：

- ① 現場パトロールの人員が十分に確保できなかった。
限られた人員の中でより効率的に現場パトロールを行う方法を検討する必要がある。

対応策：

- ① 河川増水時における一級河川、準用河川の被害想定箇所を事前に確認・整理し、災害時には、その場所を重点的にパトロールする。

(4) 公用車の退避

課題：

- ① 公用車が浸水被害にあったことから、平時より車の退避場所を定めておき、円滑に車の移動ができるようにする必要がある。

対応策：

- ① 退避場所を飯山駅立体駐車場の空きスペース等に設定し、担当者を決めて車両の移動を行う。
また、重機等については、西回り線正受庵駐車場、曙町入口堆雪場等へ移動を行う。

第4章

～災害から5年～

令和元年東日本台風（台風第19号）を
教訓とした防災に関する主な取り組み

1、国・県の取り組み

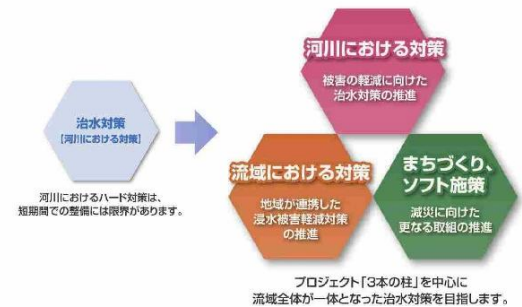
(1) 国の取り組み

① 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（令和2年（2020年）1月）

令和元年東日本台風（台風第19号）において、信濃川水系の千曲川上流域から信濃川中流域の広域にわたって甚大な被害が発生したことから、流域内の関係機関が連携して河川整備によるハード対策と地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に進めるため、国・県・市町村で構成する「信濃川水系緊急治水対策会議（千曲川）」、「信濃川水系緊急治水対策会議（信濃川中流）」が開催され、流域の関係機関との協議、調整を進め、令和2年（2020年）1月31日に「信濃川水系緊急治水プロジェクト」を最終的に取りまとめ、概ね5年間で「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指しています。

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト「3本の柱」

流域内の関係者（国、県、市町村）が連携して、河川整備によるハード対策と地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に進めるため、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を取りまとめました。



流域全体で治水対策を捉えた場合のイメージ



① 河川における対策—被害の軽減に向けた治水対策の推進

信濃川水系では、これまでの観測史上最高水位を更新する大規模な洪水が発生し、堤防の決壊、越水が多数発生するなど、現況耐崩能力を超える事業や河川防災による被害が発生しました。



被害の軽減に向けた治水対策を加速化し推進を図ります。

主な取組メニュー

- 河川防災等の迅速な実施
 - ・堤防、護岸、洪水発生時の被災態勢の把握
- 河川水位を低下及び洪水流出速度を向上させるための取組
 - ・洪水発生時の洪水調整施設の整備
 - ・堤防整備、河川維持による洪水下断面の拡大
- 耐崩耐流を上回る洪水に対する取組
 - ・危機管理型ハード対策
- 自治体等に活用した洪水被害軽減対策の取組
 - ・堤防の強化
 - ・越水時の洪水被害の軽減
 - ・既存ダム等の洪水調節機能の強化
 - ・堤防等の適切な維持管理

② 流域における対策—地域が連携した浸水被害軽減対策の推進

千曲川流域は、開道に山々に囲まれた急峻な地形のため浸出が多く、複数の支流と山間の狭小区域を交互に流下する地形特性から、外水や内水による浸水被害が発生しました。



地域及び関係機関が連携して浸水被害の軽減対策について検討し、取組を進めます。

主な取組メニュー

- 浸出抑制の取組
 - ・たけのこ等の貯留施設の増設や有効活用
 - ・田んぼダムを活用した雨水貯留施設の確保
 - ・学童クラブなどを活用した雨水貯留施設の確保
- 支川の氾濫抑制、内水被害を軽減する取組
 - ・支川治水に対する浸水防衛
 - ・排水機場等の整備、排水水の取組
- 大規模災害等における迅速な復旧支援の取組
 - ・防災拠点等の整備

③ まちづくり、ソフト施策—減災に向けた更なる取組の推進

千曲川では、堤防からの越水や決壊、支川の氾濫などによる様々な浸水形態により、各住民が適切な避難準備、避難行動等を的確に取る必要が課題となることも発生しています。



洪水特性を踏まえた、きめ細やかな情報提供等を関係機関が連携し実施する事により、「減災」の取組を推進します。

主な取組メニュー

- 住まいの方向に関する取組
 - ・「まちづくり」や住まいの取組による水害に強い地域づくりの検討
 - ・防災意識の向上
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
 - ・マイタイムラインの普及
- 浸水危険度が広がるきめ細やかな情報発信の取組
 - ・公共施設等との洪水情報の共有
 - ・住民への情報伝達手段の強化

② 流域治水の推進



流域のあらゆる関係者が協働して行う対策

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川堤防や遊水地等の整備 ・治水ダムの建設・再生
- ・雨水貯留浸透・排水施設の整備
- ・砂防関係施設の整備 ・海岸保全施設の整備
- ・利水ダム等の事前放流
- ・利水ダムの事前放流等の判断に資する雨量予測の高度化
- ・水田の貯留機能の向上
- ・森林整備、治山対策
- ・民間企業等による雨水貯留浸透施設の整備
- ・未活用の国有地を活用した遊水地・雨水貯留浸透施設等の整備 など

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・高台まちづくりの推進（線的・面的につながった高台・建物群の創出）
- ・リスクが高い区域における立地抑制・移転誘導など

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ハザードマップやマイタイムライン等の策定
- ・要配慮者利用施設（医療機関、社会福祉施設等）の浸水対策
- ・渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策
- ・地下駅等の浸水対策、鉄道橋梁の流出等防止対策
- ・学校及びスポーツ施設の浸水対策による避難所機能の維持 など

あらゆる関係者が協働して、「流域治水プロジェクト」を策定し、実行

③ 信濃川水系河川整備計画の変更（令和4年（2022年）12月）

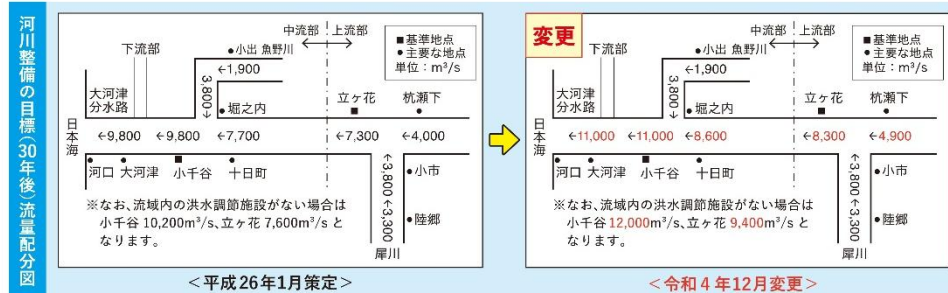
「信濃川水系河川整備計画」の変更 [国土交通省 北陸地方整備局]

<①令和元年10月東日本台風洪水を踏まえた見直し>

- ◆ 現行の河川整備計画目標流量を大きく上回る洪水の発生を踏まえ、目標流量を見直し。将来の気候変動の影響による降水量の増大等を踏まえたものとします。
- ◆ 河道掘削等の河道改修の推進と併せ、洪水調節機能の向上を図る対策の実施や調査・検討を行い、必要な対策を実施。

<②流域治水を踏まえ治水対策案を見直し>

- ◆ ハード対策のみならずソフト対策や流域対策など、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」へ転換。



【問合せ先】
国土交通省
千曲川河川事務所
〒380-0903
長野市鶴賀字峰村74
TEL:026-227-7611

令和5年3月作成

④ 蓮遊水地の整備 (令和3年度(2021年度)～)

蓮遊水地 全体計画

- 事業計画地は、住宅地を避け、県道路事業計画を考慮し、遊水地を形成するよう計画します
- 周囲堤は住宅地などと一定程度の離隔(7m程度)を確保し、管理用通路、排水路を設けます
- 内水対策のため、宮沢川に対してはバック堤を整備し、残流域に対しては樋門・調整池を設置した上で、ポンプを設けます



※図面は、測量調査、関係機関との調整などにより、今後変更となる可能性があります。

蓮遊水地整備後の地内利用方針(イメージ)



※測量調査、関係機関との調整などにより、今後変更となる可能性があります。

※県道路計画は本イメージには反映しておりません。

⑤ 飯山地区 MIZBE ステーションの整備

(令和 5 年 (2023 年) 3 月 31 日登録)

MIZBEステーションとは

- 洪水時における緊急復旧活動等の拠点となる水防拠点(河川防災ステーション)の機能に加え、賑わいの創出や地域活性化に資するエリアの基盤を整備。
- 災害時と平時両面の機能を併せ持つ「MIZBEステーション」に進化させ、地域活性化を推進。

《MIZBEステーションのポイント》

①滞在のしやすさ

- ・駐車場やトイレ、テーブル、ベンチ等の休憩施設などの施設が充実



広い駐車場



水防多目的センター



防災啓発コーナー

②地域連携

- ・地域活性化、賑わいの創出に寄与するレクリエーション施設、地域振興施設、文化・教養施設、民間施設などが水防センターに併設または隣接



運動・教養スペース(エクササイズ)



水防センター(武道交流館)



民間商業施設と隣接

③アクセスのしやすさ

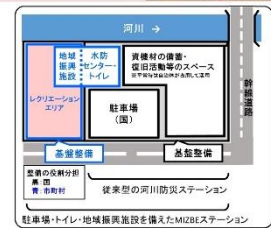
- ・幹線道路に面するなどアクセスしやすい立地環境



MIZBEステーションを拠点とした自然体験活動例



MIZBEステーションを拠点とした各種イベント実施例

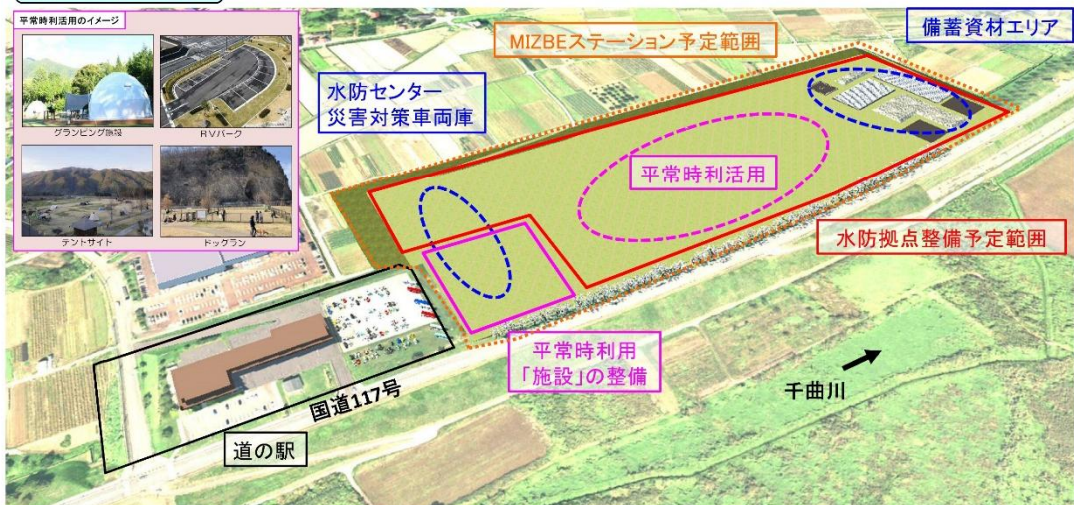


MIZBEステーションの整備イメージ

飯山地区MIZBEステーション(全体イメージ) ※イメージパース図

- 飯山市と国土交通省が連携し、道の駅「花の駅 千曲川」と水防拠点を一体的に整備。
- 水防拠点整備による防災機能の強化に加え、道の駅を中心にかわまちづくり事業などとの連携を図り、アウトドアアクティビティの拠点となる賑わいの創出や地域活性化を目指す。

イメージパース図



※範囲・施設配置や平常時利活用等の詳細については、現在検討・計画中の段階であり、今後変更となる場合がある。

⑥ 危機管理型水位計の設置（国及び県）（平成30年（2018年～））

危機管理型水位計の概要

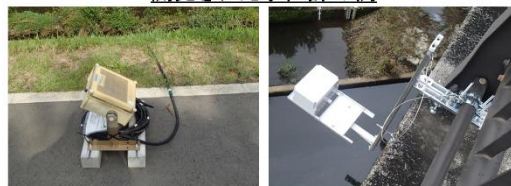
【目的】

洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計を開発することで、これまで水位計の無かった河川や地先レベルでのきめ細やかな水位把握が必要な河川への水位計の普及を促進し、水位観測網の充実を図る。

【特徴】

- 長期間メンテナンスフリー（無給電で5年以上稼働）
- 省スペース(小型化)（橋梁等へ容易に設置が可能）
- 初期コストの低減
（洪水時のみの水位観測により、機器の小型化や電池及び通信機器等の技術開発によるコスト低減）
（水位計本体費用は、100万円/台以下）
- 維持管理コストの低減
（洪水時のみに特化した水位観測によりデータ量を低減し、IoT技術とあわせ通信コストを縮減）

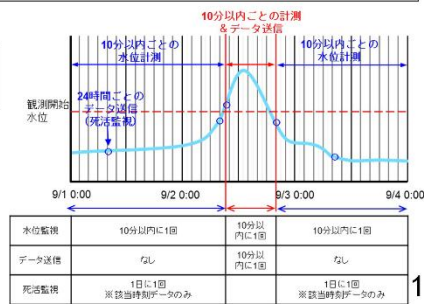
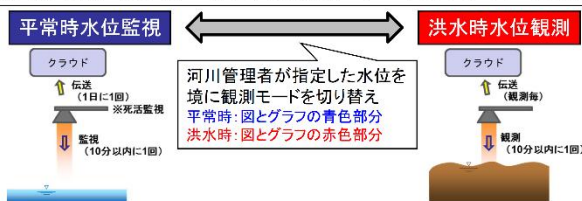
開発された水位計の例



堤防に設置するタイプ（ケーブル(計測器)を河川に入れて計測）
橋梁に設置するタイプ（電波や超音波で河川に触れずに計測）

【水位観測方法】

一定の水位を超過した時に観測モードを切り替え、10分以内毎に水位データを送信。水位データはクラウドで閲覧可能。



下流	1	市川橋	
↑	2	桑名川	
	3	出川	
	4	広井川樋門	
	5	大関橋左岸	
	6	樽川	①菜の花橋 ②樽川橋
	7	皿川	
	8	上新田揚水機場樋管	
	9	千曲川右岸36.0K	
	10	宮沢川	
	上流	11	千曲川左岸38.5K

(2) 県の取り組み

① 長野県流域治水推進計画（令和3年（2021年）2月）

「流域治水」の推進について

治水 ONE NAGANO
～みんなできりくむ『流域治水』～

長野県建設部

【契機】

- 令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨など、近年、水害が頻発化・激甚化している。今後、気候変動の影響により、さらなる水害リスクの増大が見込まれる中、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」への転換が全国的に図られている。
- 長野県では、流域治水に係る各取組について、5か年の数値目標を設定した「長野県流域治水推進計画」を令和3年2月に策定し、計画的・集中的に進めている。

流域治水のイメージ

「長野県流域治水推進計画」（令和3年2月策定）

計画期間：令和3～7年度（5か年）
内容：計画期間内で実施する取組目標を定め「流域治水」を推進

流域治水	<p>河川整備の取組「流す」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 堤防・護岸整備 ● 河道規制・支那水係接 等 <p>流域における雨水貯留等の取組「留める」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設における雨水貯留施設設置 ● 雨水貯留施設設置補助制度 ● ため池や水田を活用した雨水貯留の取組 ● 森林の維持整備 等 <p>まちづくりや住民参加の取組「織る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住民等による水防・防災監視カメラの設置 ● 雨水貯留施設取組の推進 ● 雨水貯留の普及の取組 ● 雨水貯留施設取組に関する関係機関との連携 ● 地域特性に留意した「地域防災マップ」の作成 ● 防災意識の普及に関する取組 等
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※目標数値は「10～15%の改善」を実現する目標数値を示す

<p>公共施設における雨水貯留施設設置補助制度 【長野県における雨水貯留施設設置補助制度】 目標数：432基 → 実績済：88基 【取組がすすむ中】※令和2年度（令和3年度実施分） 目標数：27市町村 → 実績済：29市町村</p>	<p>雨水貯留施設設置 【雨水貯留施設設置補助制度】 目標数：12市町村 → 実績済：2市町村</p>	<p>ため池を活用した雨水貯留の取組 目標数：404箇所 → 実績済：212箇所 【雨水貯留施設設置補助制度】</p>
<p>公共下水道（雨水）の整備 目標数：335ha → 実績済：2ha</p>	<p>排水ポンプ車の配備 目標数：2台 → 実績済：2台</p>	<p>急流管理型水位計の設置 目標数：10基 → 実績済：10基</p>
<p>簡易型河川監視カメラの設置 目標数：100基 → 実績済：100基</p>	<p>学校における緊急避難訓練の作成・実施訓練の実施 目標数：21校 → 実績済：27校</p>	<p>信州防災アプリ登録者数 目標数：100,000人 → 実績済：15,200人</p>

令和3年度の主な取組

治水 ONE NAGANO 宣言 (R3.5)

- ✓ 県と市町村が協力して「流域治水」を前に進めていく決意表明として「治水 ONE NAGANO 宣言」を実施。
- ✓ 岡部知事と牛越大町市長（市長会長：左）、羽田長和町長（町村会長：右）が出席



普及啓発活動

- ✓ 普及啓発CM・ミニ番組の放送 (R3.6～7)
- ✓ 流域治水に関するシンポジウムの開催 (R3.10)
- ✓ 流域治水グッズの配布 (通年)
- （ポスター・パンフレット・ステッカー・クリアファイル・Tシャツ等）
- ✓ 県内企業への雨水貯留缶設置協力依頼 (通年) など



令和4年度の主な取組

- 公共施設における雨水貯留施設設置
- 県有施設への雨水貯留施設設置の促進
- 県有施設における雨水貯留缶設置
- 市町村の所有する施設での雨水貯留施設設置の促進
- シンポジウム開催、CM放送等による県民への普及啓発活動
- 排水ポンプ車の配備（諏訪建設事務所に1台）
- 雨水貯留施設取組の作成
- 市町村キャラバン（「雨水貯留規制ガイドライン等の作成」の推進）
- 防犯ボランティアによる地域での防災教育
- 排水設備の更新・増強【農林部】
- ため池を活用した取組の支援【農林部・建設部】
- 水田等の維持管理【農林部】
- 支流域の森林整備【林務部】
- 信州防災アプリ、信州防災手帳の普及拡大【危機管理部】



② 一級河川 皿川改修工事 L=600m

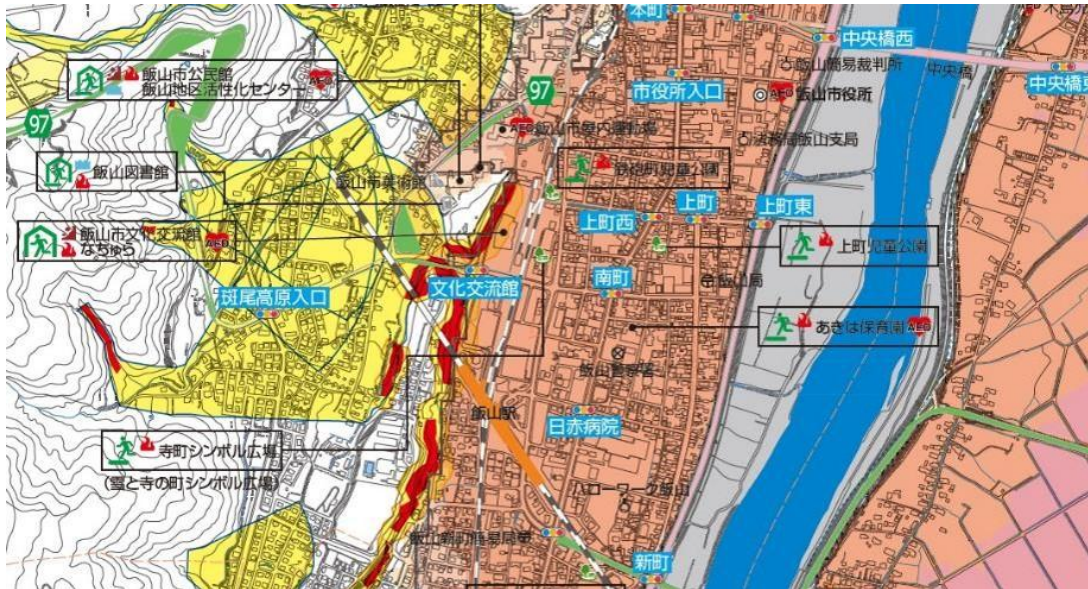
（令和3年（2021年）～令和12年（2030年）予定）



2、飯山市の取り組み

① ハザードマップの全戸配布

(令和2年(2020年)10月、改定:令和6年(2024年)3月)



② わが家の避難場所の全戸配布

(令和3年(2021年)9月、改定:令和6年(2024年)5月)



③ 洪水時の自家用車、農耕用車両、重機の避難場所の設定

(令和5年(2023年)7月)

洪水時の 自家用車等の一時避難場所

飯山市では、洪水時における市民の皆さまの財産を守るため、自家用車、農耕用車両、重機などの一時避難場所を設定しましたので、洪水の心配のある場合はご利用ください。

一時避難場所	自家用車	農耕用車両等	重機	駐車可能台数
なべくら高原森の家 テントサイト駐車場	○	○	×	約15台
旧温井小学校羽広山分校 跡地	○	○	×	約35台
戸狩温泉スキー場 ニツ宮駐車場、オリオングレンデ場内	○	○	×	約340台
外様地区活性化センター前 グラウンドおよび南側空地	○	○	×	約180台
犬坊山駐車場 (災害ごみ集積場所)	○	○	○	約500台
飯山シャンツェ上部 駐車場	○	○	×	約30台
信濃平工業会5社 駐車場 ・進巧電機 株式会社 ・中京陸運 株式会社 ・株式会社 カワモト ・株式会社 シービーアール ・長野日本無線マニュファクチャリング 株式会社	×	○	×	約110台

駐車位置等の詳細は、飯山市ホームページをご確認ください。
 QRコードでホームページをチェック！

④ 災害時の避難情報の変更 (令和3年(2021年)5月)



※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

⑤ 洪水時に備えたマイタイムラインの周知（令和4年（2022年）5月）

「マイ・タイムライン」をつくってみよう！ 「台風が発生」してから「川の水位が危険」するまでの備えをいつから行動するか書いてみよう！

おおよその時間 気象庁・横浜市から発表される情報 「台風が発生」してから「川の水位が危険」するまで

おおよその時間	気象庁・横浜市から発表される情報	「台風が発生」してから「川の水位が危険」するまで	主な備え（実際に書いてみましょう！）	備え（例）
3日前	台風予報 「警戒レベル1」>早期注意情報 「台風に関する気象庁の発表情報（リンク）」	台風が発生 自分がいるところで待っていても、上流で雨が降り始めれば水は急ぐくくるよ。		テレビの天気予報を確認 今後の台風発生予測を確認 家族全員今後の予定を確認 マイ・タイムラインを確認 買い物は、風が強くなる前に済ませる 1週間分の食糧を冷蔵庫に取りに行く 避難するときにもっていく物を準備する （家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認） テレビ・インターネット・メール等で河川の様子に注意 家族全員今後の予定を確認 使っている所と上流の雨量を確認し始める
2日前	大雨・洪水注意報 「警戒レベル2」>大雨・洪水注意報 「台風に関する今後の発表（リンク）」	台風が近づいて、雨や風が強くなるよ。 雨風が強くなるとおぼつかないよ。		テレビの天気予報を確認 安全な避難の家に家族みんなで避難することを決める 川の水位を確認し始める 防災無線が鳴らなればよう電灯を確認 災害時の備えを確認 避難の準備が完了したらインターネットで確認
1日前	大雨警報・洪水警報 （上流域での大雨特別警報）			避難の準備を確認 避難しやすい場所に避難する 川の水位をインターネットで確認 市内の指定避難所への避難を判断
半日前	氾濫注意水位到達 観測所 5日前 川の水位がだんだん増える	氾濫が起きて、川の水がだんだん増えるよ。 氾濫が起きて、川の水がだんだん増えるよ。		避難の準備を確認 避難しやすい場所に避難する 川の水位をインターネットで確認 市内の指定避難所への避難を判断
5時間前	避難判断水位到達 観測所 7時間前 川の水位が危険なレベルに近づいてくるよ。	避難判断水位に近づくと、避難が必要になるよ。 避難判断水位に近づくと、避難が必要になるよ。		避難の準備を確認 避難しやすい場所に避難する 川の水位をインターネットで確認 市内の指定避難所への避難を判断
3時間前	氾濫危険水位到達 観測所 9時間前 川の水位が危険なレベルに近づいてくるよ。	氾濫危険水位に近づくと、避難が必要になるよ。 氾濫危険水位に近づくと、避難が必要になるよ。		避難の準備を確認 避難しやすい場所に避難する 川の水位をインターネットで確認 市内の指定避難所への避難を判断
0時間前	氾濫が発生 観測所 5時間前 川の水位が危険なレベルに近づいてくるよ。	氾濫が発生すると、避難が必要になるよ。 氾濫が発生すると、避難が必要になるよ。		避難の準備を確認 避難しやすい場所に避難する 川の水位をインターネットで確認 市内の指定避難所への避難を判断

気象庁が発する大雨注意報などの発表時間は、イメージで記載しています。避難指示（警戒レベル4）等のタイミングは、水位の動向によって異なります。

発行：飯山市役所 総務課 危機管理防災課 電話 0269-67-0721（令和4年5月15日）

⑥ 防災情報の配信の拡充（メール配信サービス）

（令和3年(2021年)2月）

皆さまに、安全で安心な生活をお過ごしいただくため、緊急情報などをメールで受け取れるサービスです。登録いただいた方全員に情報をお届けする「必須」項目と必要な情報をご自身で選んでいただける「選択」項目に分かれています。いざという時のために、ぜひご登録ください。

「災害時の避難」「緊急地震速報」「火災」などの情報をお届けします！

飯山市
メール配信サービス
登録しよう

こんな情報を配信しています！

- 【必須項目】
- 緊急情報
 - 避難
 - 緊急地震速報
 - 火災
 - 千曲川の水位
 - 行方不明
 - 不審者 など
 - 【選択項目】
 - 鳥獣情報
熊などの鳥獣出没情報
 - 停電情報
市内停電の情報
 - 農業情報
農業作物等への注意喚起
 - 飯山線情報
飯山線などの運休情報

登録方法は？

まずは「t-iiyama@sg-p.jp」宛てに空メールを送信してください。詳しい手順は、裏面をご覧ください。

お問い合わせ

パイザーズ コールセンター
電話：0570-783-773
（午前9時～午後5時30分）
※土日・祝日および会社休業日を除く月曜～金曜

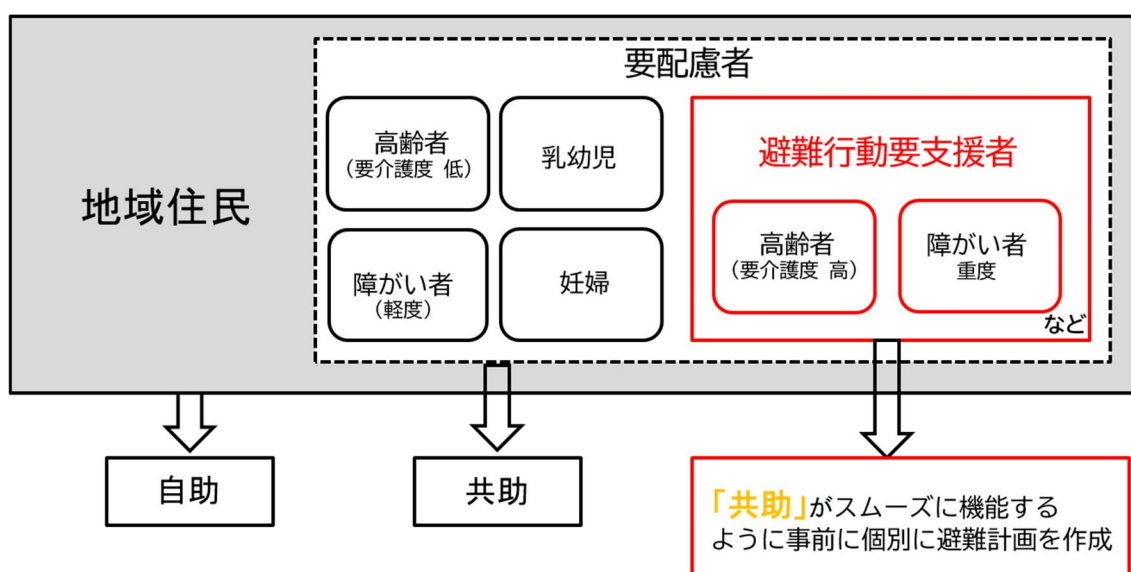
⑦ 防災無線（個別受信機）のデジタル化と全戸貸出

（令和2年度（2019年度）～）

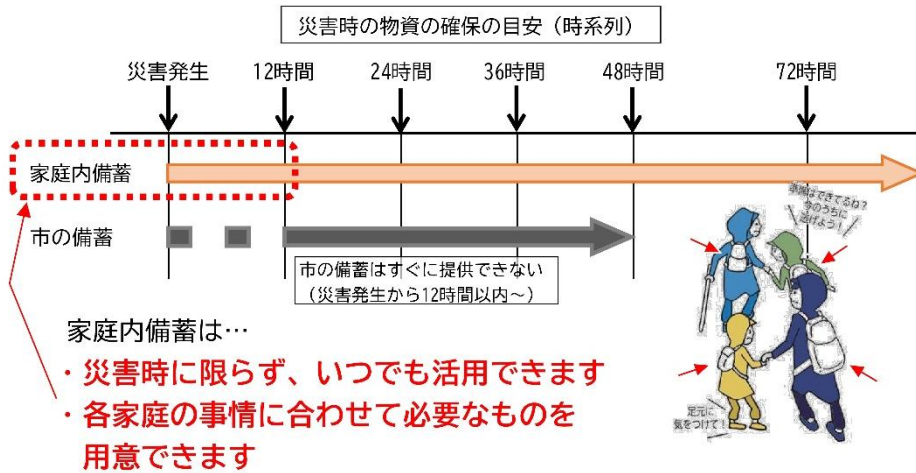


⑧ 個別避難計画の作成（令和3年度～）

近年の災害においても高齢者や障がい者が犠牲になっており、災害における全体の死者のうち、65才以上の高齢者の割合は、令和元年台風第19号では約65%、令和2年7月豪雨では約79%であったことを受け、災害時の避難支援等をさらに実効性のあるものとするため、特定の「避難行動要支援者」について、災害が発生した際に円滑な支援が行えるよう、ひとり一人の「避難場所」や「避難方法」、そして「誰が避難をサポートするか」などを予め決めておく、個別避難計画を毎年更新しています。



⑨ 飯山市災害備蓄計画（洪水編）の策定（令和5年（2023年）1月）



① 長期避難用備蓄品

救援物資が届くまでの避難生活に必要となるもので、食料・飲料水及び生活必需品など、最低3日以上（7日以上が望ましい）を準備しておきます。

また、1日分は「非常持ち出し用備蓄品」としておきます。

災害発生後でもすぐに取り出せるよう、キッチンや押入れ、物置などへ、ケースしてまとめておきます。

例：飲料水、食品、紙の食器類、カセットコンロ、カセットボンベ、携帯トイレ、ウェットティッシュ等



② 非常持ち出し用備蓄品

避難する時にまず持ち出すべきものです。

非常用持出袋やリュックサックなどに入れて、玄関等の持ち出しやすい場所に置いておきます。


1日分は用意しておきましょう。

例：非常食、水、携帯ラジオ、懐中電灯・乾電池、携帯電話の充電器、防寒着、使い捨てカイロ、マスク、救急キット、携帯トイレ、生理用品、タオル等

※リュックサック（写真中央）とリュックサックに入れる非常持ち出し用備蓄品



⑩ 洪水時は流しま宣言 ～バスダムの取り組み～ の発出
(令和5年(2023年)7月)




市民・事業者などの皆さまと協働した流域治水の取り組み


せんげん

「洪水時は流しま宣言(バスダムの取り組み)」にご協力ください

危機管理防災課 防災消防係 Tel. 67-0721



QRコードで
ホームページ
をチェック!



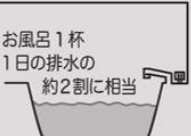
飯山市は、これまで多くの水害を経験し、その甚大な被害にあってきた教訓から、信濃川・千曲川下流域や市内を流れる中小河川の下流域に住む皆さまの増水に対する不安や負担が少しでも軽減されるように、市民や事業所等の理解を得ながら、流域治水の取り組みの第一歩として、次の取り組みについてご協力をお願いします。

■取り組み内容 洪水時はお風呂の水などではできる限り流さない

洪水時に川や下水管を流れる水を減らすためには、家庭や事業所からの排水量を減らすことも非常に大切です。大雨によって川が増水しそうな時は、お風呂や洗濯水、工場排水などをできる限り流さないようにしましょう。

お風呂1杯で1日の排水の約2割をストック!

飯山市の令和4年度の年間下水処理量は約250万トン(飯山市民プールの50mプールで約1,900杯分)です。これを1世帯、1日当たりの下水処理量に換算すると約1トンの排水が毎日処理されている計算になります。1世帯のお風呂の1杯分の湯量を180リットル(0.18トン)を1日排水しないことによって、増水時には1回の排水の約2割に相当する排水を一時的に止めておくことが可能となります。



お風呂1杯
1日の排水の
約2割に相当

⑪ 自主防災組織活動の推進

災害時警戒避難体制計画



平成30年12月
桑名川区自主防災組織

桑名川区防災マップ



⑫ 市役所前雨水貯留タンク 3台設置（令和4年（2022年）7月完成）



⑬ 城山雨水排水ポンプ場の改修（令和5年（2023年）7月完成）





